

前田君歡迎

拜啓陳者前田正名君十一月一日神戸港ニ着直ナニ各地巡回大阪京都其他ヲ經テ九日午後三時十九分當地新橋御着京相成豫定ニ候就テハ各部役員ハ勿論會員諸君ニモ萬障御差操同時刻前ニ同所停車場前ニ御參集ノ上歡迎被成下候様致度此段御通知申上候也

五二會東京本部

五二會東京本部 去月廿六日午後日本橋俱樂部に於て五二會役員總會を開けり本會は本部理事部長島三氏先づ森村本部長風邪にて缺席の旨を告げて開會の旨を述べ且事務の大要を報告し次に事務員山本健氏會計の報告を爲し夫より協議會に於て左の事項を協定せり

五二會録事

五二會役員總會 去月廿六日午後日本橋俱樂部に於て五二會役員總會を開けり本會は本部理事部長島三氏先づ森村本部長風邪にて缺席の旨を告げて開會の旨を述べ且事務の大要を報告し次に事務員山本健氏會計の報告を爲し夫より協議會に於て左の事項を協定せり

三氏出席ありて巴里萬國博覽會出品品上に関する政府の方針並に出品者の注意すべき要點等交々演説せられ終りに該博覽會出品協會發起人山口鐵之助氏は同協會設立發起の旨を述べて各役員の賛助を求めたり一同應答に就き午後六時散會したり

- 各省大臣、東京府知事、市參事、農工商各局長、各警察署長、各商會、新聞記者等招待する事
- 委員 森村市左衛門君、橋本福島君、三三君、河原 德助君、橋本久保田總右衛門君、三輪 善兵衛君、林 治 祐君、谷口 庄藏君、雨宮 綾太郎君、池田 傳吉君、金田 兼次郎君、長谷川 藤次郎君、服部 源三郎君、生野 恒八君、同 白砂 虎次郎君、岡田 來吉君、同 山本 健君、岡田 來吉君、同 山本 健君

各種役員會 去二日本部事務所に於て開會す來會者は皆其節へ提出したる五二會全國品評會補助費請願書に連署せし各種役員にして諸事の要領は本請願書に對し當局者に向ての運動委員を指名と定め前田監督若京の上指名を請ふ事とし且つ運動委員の實費は先づ假り各自弁せしむる事と追て報酬の方法を議定することに協定したり

明治製糖株式會社 廣々本紙上にも記載せし同會社は本所區柳島元町へ建築中なりしが土木功を竣へ機械の振付其他諸般の準備悉く整頓したるを以て去月廿四日は開業式を舉行したり當日招待に應じて來會せしは京濱の紳士實業家及び新聞記者等無慮六百有餘名にして工場にては午前六時より機械を運轉して來賓の視覽に供し晝の製糖の手廻大輪轉等餘興あり近來稀なるの盛況なりし因みに云ふ從來他に製糖の工場なきにはおらねど之を備へば他は皆木綿製のみならず此會社にて始めて綿物を製造するに至りしなれば前途最も有望なるは云ふまでも無き事なるが去廿八日柳島製糖工場に於て開業式を爲したる時の如きは打三千圓以上の品すらも其先を争ひ遂に供給不足を告げたりと云ふ以上其有望なるを知らずは蓋し明治製糖株式會社を以て嚆矢と爲すべし

花かんの流行 目下お茶、牡丹、菊の類いづれも肩付大中小形とも非常の流行を極めつゝあり而して先年來同品の美麗にして且つ丈夫なる割合に價格も殊の外低廉なりとて追々流行を來せしに連れ往々粗製の生地を用ひたりたるものを發見せしが心ある需用者は其あしきを悟りしものか今は上物ならんば買入なき有様にて専ら上出来物のみ買行あり然れど彼の粗製なる丸善商店の製造に係るゴム(セルロイド)の如きも該ゴム花かんの上等物流行と共に大いに需用者が増加し殊に英國へ注文し置きたる新式製造機械も到着せしに付爾來は舶來の如き大板生地並に透明(藍甲はら)の類をも製出し得べく且つ價格も非常に引下り本月より益々業務の擴張を計ると同時に從來の如く度々品切等のなき様準備全く整頓したりと云ふ

五二會藥品部創設 今同回部の創設に付本組合員にして藥業を兼たる星野與兵衛氏を部長に

なるレニス模倣いかにしきと云へる新造品は手捫掛、蝶々掛、根掛、帯止、羽織の紐等種々ありいづれも優美高尚の相余製なれば貴婦人令嬢を始り一般婦人社會の嗜好に適し日増に高評を博しつゝありと云ふ

かぬい油 名古屋市傳馬町二丁目一川傳四郎氏方の製造販賣に係る精製香油かぬい油は精純の精油を原料とし之に種々上等の香料を配合したる製法なれば男女の頭髮に用ひて最も有効なるは云ふまでもなく第四回内國勸業博覽會及び五二會全國品評會其他へ出品毎に必ず賞牌を受けるを見ても如何に品質の純良なるやを推知するに足るべしと云ふ

謝辭

- 岩代須賀町 越中宮古港 武川川口町 出雲國今市町 伊豫國湯澤町 羽後國湯澤町 赤間國玉島新町 函館惠比壽町 備前國三好町 岩代須賀町三丁目 羽前西置郡長井町 陸奥三戸郡八戸町 江州愛知郡畑田村 岩代本宮町 米澤市十日町 山形市十日町 同市南町 北海道釧路國真砂町 秋田市本町五丁目 陸前浦谷本町 山形市五日町 岩代福島置賜通七丁目 同福島町二丁目 同福島町三丁目 同福島町四丁目 同福島町五丁目 同福島町六丁目 同福島町七丁目 同福島町八丁目 同福島町九丁目 同福島町十丁目 同福島町十一丁目 同福島町十二丁目 同福島町十三丁目 同福島町十四丁目 同福島町十五丁目 同福島町十六丁目 同福島町十七丁目 同福島町十八丁目 同福島町十九丁目 同福島町二十丁目 同福島町二十一丁目 同福島町二十二丁目 同福島町二十三丁目 同福島町二十四丁目 同福島町二十五丁目 同福島町二十六丁目 同福島町二十七丁目 同福島町二十八丁目 同福島町二十九丁目 同福島町三十丁目 同福島町三十一丁目 同福島町三十二丁目 同福島町三十三丁目 同福島町三十四丁目 同福島町三十五丁目 同福島町三十六丁目 同福島町三十七丁目 同福島町三十八丁目 同福島町三十九丁目 同福島町四十丁目 同福島町四十一丁目 同福島町四十二丁目 同福島町四十三丁目 同福島町四十四丁目 同福島町四十五丁目 同福島町四十六丁目 同福島町四十七丁目 同福島町四十八丁目 同福島町四十九丁目 同福島町五十丁目 同福島町五十一丁目 同福島町五十二丁目 同福島町五十三丁目 同福島町五十四丁目 同福島町五十五丁目 同福島町五十六丁目 同福島町五十七丁目 同福島町五十八丁目 同福島町五十九丁目 同福島町六十丁目 同福島町六十一丁目 同福島町六十二丁目 同福島町六十三丁目 同福島町六十四丁目 同福島町六十五丁目 同福島町六十六丁目 同福島町六十七丁目 同福島町六十八丁目 同福島町六十九丁目 同福島町七十丁目 同福島町七十一丁目 同福島町七十二丁目 同福島町七十三丁目 同福島町七十四丁目 同福島町七十五丁目 同福島町七十六丁目 同福島町七十七丁目 同福島町七十八丁目 同福島町七十九丁目 同福島町八十丁目 同福島町八十一丁目 同福島町八十二丁目 同福島町八十三丁目 同福島町八十四丁目 同福島町八十五丁目 同福島町八十六丁目 同福島町八十七丁目 同福島町八十八丁目 同福島町八十九丁目 同福島町九十丁目 同福島町九十一丁目 同福島町九十二丁目 同福島町九十三丁目 同福島町九十四丁目 同福島町九十五丁目 同福島町九十六丁目 同福島町九十七丁目 同福島町九十八丁目 同福島町九十九丁目 同福島町一百丁目

本組合録事

臺南縣物産陳列場寄贈品運送上の義に付今般東京府廳より左の通牒ありたり

本年五月廿四日付六一一四號ノ二を以て臺南縣物産陳列場寄贈品の義に付申入候處内地臺灣間の運送上に付て不便少候に付今般京都府下京區新門前仲之町十六番地鎮西協會員田次平へ取次運送の委託相成候間運送上に付て同人へ問合せ候ハ諸事分明可致候又寄贈品ハ大坂市北久太郎町四丁目吉田春吉方同人宛に發送を要し候同地より臺南縣迄の運賃は同縣より支辨可相成尤も仕出地より大坂迄の運賃も同縣に於て支辨すべし等なるも何分創開の初年に於て經費甚だ少く不得止前陳の方法に相成候條其邊合置き一層勸勵相成度此段更に申入候也

明治三十年十月廿五日

東京府

東京小間物卸商組合事務所御中
追て寄贈品に産地出品人名原價と説明を要するものは説明書を添付候條注意相成度申添候也
●去月十六日役員會に於て決議したる賣掛金不拂者處分の件に付左の規約草案を編成し目下各業組合へ廻付夫々交渉中なり

聯合組合規約草案

今般何々組合一致聯合シ相互ノ權利ト名譽トヲ保護増進セシメ併セテ從來ノ弊習ヲ矯正セシメガ爲メ其條項ヲ協議決定スルノ如シ

第一條

聯合各組合員ハ其各組合員中既ニ特許、意匠、商標ノ登録ヲ受タル商品ノ擬造者クハ類似品ト認メ得ヘキモノヲ賣買スベカラズ

第二條

聯合各組合員ハ其組合員ト否ト問ハズ商取引上物品ノ代價ヲ拂ハズ又ハ皆濟セズ數回仕拂ノ請求ヲ爲スモ不當ノ口實ヲ以テ之ニ應ジザルハ該債務者ノ住所氏名商號金額及ビ其事由ヲ詳細シ價權ノ証憑トナルベキ(貨物判取帳又ハ運酒店ノ証明書、商業帳簿、注文書若クハ往復文書等ノ類)ヲ添(所屬組合事務所へ申出ル)ヲ得

第三條

組合員ヨリ第三條ノ申出アリタルハ事務所ハ之ヲ債務者ニ照會シ猶其義務ヲ果ササルニ於テハ役員會ノ決議ニ依リ其組合員及聯合各組合事務所ノ債務者ノ住所氏名商號ヲ配(タル)取引拒絶ノ通知書ヲ配布スベシ
但シ聯合各組合事務所へ送附スベキ通知書ニハ債權者ノ提供シタル書類ノ原本ヲ添付スルヲ要ス

第四條

聯合各組合事務所ニシテ第三條ノ通知ヲ受タル者ハ直ニ所屬組合員一般へ通報スベシ
但シ此通知ハ其組合機關新聞紙上ヲ以テ之ニ充ルヲ得

第五條

聯合各組合員ニシテ第四條ノ通知ヲ受タル者ハ其債務者ニ對シ斷然商取引ヲ爲ササルモノトシテ但シ債權者ヨリ示行届キタル旨申出アリタルキハ取引拒絶解除ノ通知ヲ爲スベシ

第六條

聯合各組合員ハ其組合員ノ代務人若クハ使用人ニシテ不都合ノ所爲アリタル爲メ解雇セラレタル者ニシテ同業ヲ營ムモノハ商取引及雇入ヲ爲スベカラズ
但シ前雇主ノ承認ヲ得タル者ハ此限ニアラズ

第七條

聯合各組合員ニシテ本規約第五條ノ規定ニ違背シタルモノハ第三條及第四條ノ手續ニ依リ各組合員一般ニ通知シ第五條但シ書ノ場合ニ至ル迄其債務者同業商取引ヲ拒絶スベシ

第八條

此規約中改正加除ヲ要スルキハ各組合協議ノ上之ヲ決ス
右之條々遵守履行スルノ証トシテ各聯合組合員一同茲ニ記名捺印スル者也
明治 年 月 日
聯合各組合員 記名連署

聯合各組合員 記名連署

●商會社の自由營業

從來商會社設立せんと欲せば先づ地方廳の手を経て主務大臣の認可を得ざるべからず隨つて其間繁雜の手續と長久の歲月とを要し一般人民の不便を感ずると一方ならざるのみならず主務省を始め地方廳に於ても實際其煩に堪へざるものあり依て當局者は之れが取扱方法に就き簡明迅速なる手段を講じつゝありしが其結果として普通許可すべき性質のものに合資と株式とを論ぜず合法の手續を爲し一片の届書を出し置けば何時にても營業を開始するを得べく只一區域に數を限られたる取引所の類其他特殊の性質を有する者のみに限り出願の上許可を請はしむる事とするの二様に分ち營業開始後違法の處置あらんには直ちに嚴重なる制裁を加ふるものと目下草案中の由

花王石鹼

花王石鹼の品質最良にして特に皮膚の美艶をまじ且衛生上大に特効あるは長くも

宮内省陸海軍 帝國醫科大學

其他各病院の御用を命せられ或は博士大家の實驗證明を與へられ浴く内外需用諸君の高評を博しなるを以て推知せられんとを希ふ

●賣捌所ハ全國至る處にあり

近來粗製品に類似の偽品を附し販賣する者有之に付本品の正副則登録商標及長瀬富郎名義に御注意の上御求取下度候

東京馬喰町貳丁目 電話九二二

製造發賣本舖 長瀬富郎



謹 稟

一時今諸物價非常ニ騰貴致シ從而原料工賃總テ直上ケ相成不得止今般組合員協議ヲ以テ從前ノ賣價へ一割増相願候事ニ決議相成依テ御領承之上御取引ノ程奉希上候也

明治三十年十一月一日

東京煙管商組合

●本品の特色

多量ノ人造麝香ヲ含有スレバ他品ニ比シ芳香ハ最モ優最モ多シ功用ハ開酸揚酸及皮膚ノ能美ナル事ヲ保證ス

製造元 御徒土町三丁目 丹中花王堂

發賣元 東京日本橋區山崎二丁目 田中花王堂

大販賣店 東京小間物卸商組合中 東京賣藥 御商組合中



東京小間物卸商組合

東京日本橋區山崎二丁目

田中花王堂

●物價騰貴と日本銀行 目下無邊界の趨勢は益々困難の地に陥り何時回復の期を見るや前途空漠として何人も驚き殫んぞ知るべからざるものあり而して其最も憂心すべきは物價の將來に過ぎず去明治廿年一月百位のもの去月は百六十三圓ち六割三分と云ふ十年來未曾有の最高價を示し本月に入りての比例は未だ知るべからざるも小賣品は米價に伴ひ益々騰貴の傾きあり細民の困窮するのみならず延いて國民一般に其害を及ぼし遂に救ふ可からざるに至るべし而して之が原因たる既往に於ける銀貨下落及び戦後財政膨脹より來れるもの興つて方あるべしと雖も通貨の増加も亦其大なる原因の一といはざるを得ず或一部の論者は幣制改革の結果十月以後に於て物價は漸次下落するべしと論せしも未だ之に當るの時機に達せず加ふるに我兌換券は其名は兌換するも實は不換紙幣同様にして輸入超過あるも少しも正貨に兌換流出せず是れ政府が倫敦に於ける債金若しくは公債買却の代金等を以て超過額を支拂ひ其流出の途を斷ち居るを以て左なきに物價は騰貴し隨つて資金を要するの數増加する有様なるに於ける方法を依然繼續するに依り通貨膨脹と逆比例に資金の缺乏一層甚しく金融は圓滑を缺き夫の制限外兌換券の如き窮策を行はざるを得る場合に立至れり而して一時減少の傾きありたるに又々増加の一方向に向ひ昨今は二十三百萬圓の巨額に達し尙昂進の傾きありて大藏省は三千萬圓迄發行の許可を與へんと傳へらるる是所謂新に油を灌ぐと一般其出すの巨大なるに隨ひ資本を要するの難之に倍し不換紙幣濫發時代に物價の昂騰する如く益々昂騰して止まざるに終る可きのみ今日物價の昂騰を防ぐの策兌換券を減少するより善きはなし果して然らば日本銀行たるもの國家の爲り充分なる利率の引上げを斷行し國民の困窮を救ひ以て中央銀行たる責務を全うすべきなりと説くものあり


●手形小切手の不渡に就て 近來信用手形小切手に不渡りのもの續々現はれ同銀行の制裁法に依て處分する者少からず爲に信用制度の發達を阻害せんとするの觀あり獨り振出人の不信用なるのみならず斯る不信用なる其人と取引する銀行も亦延て不信用の名を受くるに至るを以て近來各銀行は與信所の力に依り又は其他の方法に依て取引先の身元を調査する事頗る嚴重なる趣なるが同盟銀行間には一度不渡ある時は信用回復迄其人との取引を同盟拒絶し此拒絶を受けた人は融通機關の便利を全く絶たれるものなれば手形信用者は深く注意を加へ信用の失墜ならん様すべしなり

●特許商標意匠條例の改正 據て農商務省特許局に於て調査中なる三條例の改正案は既に脱稿して參事官會議に提出せしむるが今同案の要領なりとて當局者の語る處によれば舊條例に比すれば權利の點に於て擴張し及び萬國共通の法規と爲すに當り其他は差異なきよし而して議會に提出するや否や未定なるが萬國會議に派遣したる委員の報告によりて尙一層完全なるものとする趣きにして多分本議會には提出せざるべし其實施は條約の實施期前なりと云ふ

●勸業銀行と工業社會 大坂商業會議所等にては勸業銀行の工業社會へ借出しの件に就き切に奔走中なるが勸業銀行員の語る所に依れば當行も及前工業者にも借出さん心算なるも條約第十四條の明文にも不動産を抵當とし云々ありて器械等工業社會財產の一大部分を占むるもの之を抵當として承諾する事能はず故に唯土地建物等を抵當として借出し得る而已なれば農業者の財產全部は殆ど不動産なるものと比較せば或は工業者に薄きと云へり

●保險取締法と該會社 第十一議會に向つて農商務省より提出する保險會社取締法案なるものは保險法に關係を有するを以て同省 保官の調査結果次第第一總法典調查委員會の議に付する都合なるが右取締法實施の上は事業不整理の各保險會社に於ては頗る迷惑を感ずるは勿論なれば主務者は多少猶豫の時日を與へ充分整理せしむる都合なれば同法實施と共に閉店するの不幸は避け得べしと

優等 麝香入



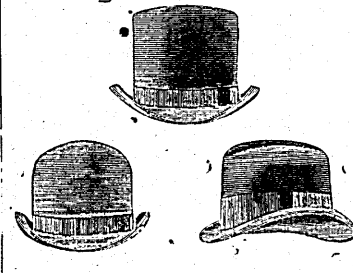
特製 練別

○優等 麝香入高評石 定價一個廿五錢 價貳號一個十五錢

此石麝香は世間在來の物と大に其質を異にし純好なる原料に純性麝香を混和せるを以て芳香佳烈一たび用ゆれば皮膚滑らかに色澤を加へ一種得ながら白く含み其爽快なる云ふ斗り其名に江潮貴紳の高評を博し一日需用の増加するに依り其名に背かざるを以てなり乞ふ益々愛顧請試用之候 伏面奉希望候

發賣元 東京市神田區柳原川岸十八番地 小林富治郎

市内は勿論全圖到處の和洋小問物店及藥舖に販賣致し居候間最寄にて御購求を乞ふ



冬物帽子各種新荷相揃候間不相變御用向被仰付度希望仕候

尙書面ニテ御注文之節ハ、角山、中山、中折、及色黒或ハ裏付、裏無、等概略ノ御指直ヲ以テ御用向被仰付候ハ、直段ハ最モ勉強致シ格好其他精々注意可仕候間何卒御引立之程奉願上候

東京馬喰町二丁目 (電話浪花九三三)

長瀬富郎 洋物店

CORAL DEALER.

珊瑚 皇國 舶來 珊瑚 珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切

珊瑚 美術彫刻品 漆器ニ應ズ

今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立ノ程奉願上候

珊瑚珠樹問屋 余 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店 東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

緒緒玉 簪一玉 根掛玉

艶顔水の特約大販賣店

東京 山崎町二丁目 眞盛堂
 同 山崎町二丁目 花王堂
 同 山崎町二丁目 大和堂
 同 山崎町二丁目 田中堂
 同 山崎町二丁目 中兵衛堂
 同 山崎町二丁目 金尾堂
 同 山崎町二丁目 平尾堂
 同 山崎町二丁目 玉尾堂
 同 山崎町二丁目 初太郎堂
 同 山崎町二丁目 金太郎堂
 同 山崎町二丁目 八太郎堂
 同 山崎町二丁目 三太郎堂
 同 山崎町二丁目 五太郎堂
 同 山崎町二丁目 七太郎堂
 同 山崎町二丁目 九太郎堂
 同 山崎町二丁目 十太郎堂
 同 山崎町二丁目 十一太郎堂
 同 山崎町二丁目 十二太郎堂
 同 山崎町二丁目 十三太郎堂
 同 山崎町二丁目 十四太郎堂
 同 山崎町二丁目 十五太郎堂
 同 山崎町二丁目 十六太郎堂
 同 山崎町二丁目 十七太郎堂
 同 山崎町二丁目 十八太郎堂
 同 山崎町二丁目 十九太郎堂
 同 山崎町二丁目 二十太郎堂

艶顔水の特約大販賣店

男女共顔の色を白く、きめをこまかに、
 思議なき三日間用ひて必脱け治し、
 日にやけるおとし、
 あせば、ふき出物等顔のあれ、
 速治す、
 此水をおし、
 麗なき艶を現はし、
 尚中あせにてはげぬと妙なり

艶顔水

OUTOUBA BEAUTIFIER

定價 大瓶廿錢 中瓶拾錢 小瓶六錢

莫大小製造卸稟告

小間物屋さん仲間へは特別に動て賣升

●莫大小製造卸稟告●

星野卯三郎
 星野工場

旅籠町二丁目

髮掛類各種

邑瀨製運動寢網

一、手販賣所
 東京 芝罘區 芝罘町
 一丁目七番地

二、星野卯三郎
 星野工場
 旅籠町二丁目

醫學士稻生悌先生新方

●製糸家用 絹練石鹼

定價 櫻石鹼 一個十錢 郵稅二錢
 蜂石鹼 一個十五錢 郵稅同

●製糸家用 絹練石鹼

定價 櫻石鹼 一個十錢 郵稅二錢
 蜂石鹼 一個十五錢 郵稅同

●製糸家用 絹練石鹼

定價 櫻石鹼 一個十錢 郵稅二錢
 蜂石鹼 一個十五錢 郵稅同

肌着靴下

莫大小製造卸稟告

鈴木卯兵衛

東京 日本橋區 山崎町三丁目八番地

世界無比

高評あらんとを

本館は化學作用により多年實驗して好成績を得たるに依り一層原料の良質を選擇して精製したるものなれば、從來世に行はるる普通歯磨き其質を異にして香氣郁鬱として口中の汚物を臭氣を去り、歯質を雪白健全なるに思ふる無きと疑はしむるに、是れ本館の特効なり、江崎の諸産、御試用の上、御高評あらんとを

白日光

TRADE MARK

高品質

●致候間此段謹告仕候

●品質善良ナルヲ以テ第三回五二會品評會褒賞賞拜受

流形行

●本品ハ東京有名ナル日之出商會ノ製造品ナリ

●本品ハ品質善良ニシテ意匠ニ富ミ價格尤モ低廉ナリ

●本品ハ完備セル工場ト熟練ナル職工ヲ有スルヲ以テ多數ノ御注文ト雖モ即時御間ニ合セ申候

伊勢幸商店

東京 日本橋區 馬喰町四丁目

三橋喜次郎製

白散本館

東京 日本橋區 山崎町三丁目一番地

●本品ハ東京有名ナル日之出商會ノ製造品ナリ

●本品ハ品質善良ニシテ意匠ニ富ミ價格尤モ低廉ナリ

●本品ハ完備セル工場ト熟練ナル職工ヲ有スルヲ以テ多數ノ御注文ト雖モ即時御間ニ合セ申候

敬香膏

TRADE MARK

高品質

●致候間此段謹告仕候

●品質善良ナルヲ以テ第三回五二會品評會褒賞賞拜受

秋の花妻 (第六回)

一 菓子 稿

住僧忍は膝かきし前、其御無念は、大も悪僧
とても新くの通り東に髪を剃りて、身は黒染
の衣を纏ひ、入無念の姿に、御父上を受け
たる御恩なしかば、忘れ申すべし、臨終に、感せし御遺
官片時たりとも、疎そかにせず、只、和子様の御成人
を祈り、今にも、あれ、舞する時の、至りなば、此、袈裟衣か
なぐり捨て、老ひたりとも、太刀引提げ、陣頭第一に馳
向ひ、恨重なる小貳入道、妙慧の生首討取つて、主君の
尊靈に供へんと、脾肉の嘆を、懸する事、幾度と、影知れ
されど、如何にせん、返阿殿、御討死の以後は、菊池の勢
ひ、登まりて、御子武俊殿すらも、所領の片隅へ、御整居
ありて、時節を待たる、有様なれば、唯、今、頼りに事を
仕出し、小貳が勢に、仇せんは、崎の斧を、以て、陣車に
向ふに、等しければ、斯く、世捨人に、身を、託は、以、關、細
の、紅、蓮、五、器、の、花、回、念、佛、に、日、を、暮、し、無、念、を、思、ふ、愚
僧の、心中、張り、割く、様に、覺、れば、況、して、和、子、様、の、傍
心、根、嘸、か、し、と、恐、察、仕、つる、既に、今日、まで、和、子、様、へ、右
の、始、末、を、物、語、り、生、れ、ながら、に、仇、を、持、つ、身、の上、を
告、げ、度、し、と、思、ひ、立、ち、し、も、度、な、れ、ど、此、の、通、り、此
界、限、は、皆、小、貳、が、所、領、と、なり、菊、池、殘、黨、懸、掛、の、砂、汰
は、今、以、て、向、や、ます、壁、に、耳、を、懸、け、る、通、り、油、断、の、なら
ぬ、世、の中、な、れば、滅、多、に、口、へ、は、出、され、ず、と、其、儘、控、え
居、り、ました、今日、まで、事、を、押、寄、み、和、子、様、を、庇、かり、申
せ、し、段、は、平、に、御、用、捨、下、され、と、両、手、を、突、て、詫、入、る、に
捕、縛、は、其、手、を、押、退、けて、捕、元、は、家、來、の、者、にも、せ、よ
今、は、養、育、の、大、恩、う、け、聞、と、仰、ぎ、たる、御、坊、の、事、其、御、附、
に、及、び、申、さ、す、却、つ、て、今、まで、知、ら、ざ、り、し、は、此、身、の
爲、に、結、句、傳、律、斯、く、成人、を、致、す、ゆ、先、に、忍、じ、の、仔細、を
聞、く、時、は、血、氣、に、過、つ、て、事、を、仕、出、し、却、つ、て、過、した、ん
も、聞、られ、ず、是、皆、御、遺、の、責、賜、なり、と、更、に、誇、ら、れ、其、事
も、聞、道、が、は、八、幡、三、郎、が、忘、れ、が、な、み、に、負、か、ず、と、忍、び、は
感、涙、わ、く、と、覺、え、ず、負、付、さ、し、て、は、最、前、の、小、鳥、の
一、條、愚、僧、も、和、子、様、の、御、奉、勤、世、に、勤、め、し、事、に、存、じ

斯く寺院に留置されて、徒らに年月を送らんより、我
生の罪に事寄せて、一先づ此地をお返し申し、武邊文
事の御修行を充分お積ませ申し、度く夫故にこそ右
の仕合せ、此寺を出て北の方峠を下つて十里餘り、小
貳入道が館を構へし内山の城の片陸りに、衣笠多門
と名乗り居る、御道兵學の達人あり、今は世の越を遠
ざけて、再び弓矢を手に、胸に、不、律、の、門、に、鐵、を、掛、け
て、耕、や、し、作、る、を、事、と、な、せ、と、此、忍、び、は、無、二、の、友、理
一、先、づ、彼、へ、身、を、寄、せ、て、兵、法、學、問、の、修、行、か、た、く、小

見捨てた奴、勝手に生れ、いと、愛、さ、く、處、と、四、方、へ、響、か
せ、な、ら、影、で、は、銀、づ、く、頭、の、影、響、る、障、子、を、荒、々、と、く
開、け、て、出、た、る、以、前、の、岩、鐵、若、や、ア、開、いた、く、豫、て
小、性、の、捕、縛、とい、ふ、奴、ま、つ、た、御、坊、の、身、元、を、何、う
や、ら、迂、散、と、見、た、に、依、つ、て、小、貳、殿、御、身、内、原、田、對、馬、守
殿、より、差、向、け、ら、れた、標、榜、の、某、若、鐵、は、は、は、ん、の
假、の、名、實、は、此、方、の、祖、父、を、斬、つ、た、丹、下、兵、馬、が、大、事、な
情、態、之、過、と、は、我、事、た、夜、更、小、更、の、密、々、話、し、要、こ、そ、あ
れ、と、立、聞、し、て、始、終、の、様、子、は、感、ら、ず、知、つ、た、菊、池、が、殘



武が城の有様を、篤と見定め置き給へ、路用の金も添
手紙も、ハヤ認ためて、是にあり、敷地へ入込、事なれ
ば、反す、も、御、名、を、表、み、決、して、御、短、慮、遊、ば、され、な
と、用、意、の、品、々、取、出、せ、ば、捕、縛、は、取、つ、て、押、籠、た、き、捕
何、から、何、まで、段、々、の、御、配、慮、御、禮、は、言、葉、に、盡、され、ま
せ、ぬ、繼、て、銀、雪、の、功、を、祈、り、天、晴、れ、功、名、を、送、る、まで
は、矢、張、元、の、小、性、の、捕、縛、御、附、匠、様、左、ら、は、御、取、仕、ま、つ
り、ます、左、ら、は、随、分、御、機、嫌、よ、ふ、と、い、ひ、掛、けて、俄
か、に、心、付、さ、一、イ、ヤ、横、槍、が、何、で、あ、ら、う、と、今日、限、り

黨八幡が、仲、斯、く、い、ふ、熊、之、進、召、捕、つ、た、覺、悟、ひ、ろ、げ、と
突、と、つ、つ、捕、縛、が、腰、に、無、手、と、組、む、其、初、こ、を、豫、て
の、推、量、通、り、此、奴、小、貳、が、如、し、者、よ、な、命、知、ら、ず、の、瘦
待、何、う、し、て、くれ、ん、と、見、廻、は、す、を、捕、縛、は、餘、か、に、押
止、め、捕、御、遺、の、御、手、を、借、る、に、及、ば、ず、一、ひ、ね、り
と、い、ふ、よ、り、早、く、岩、鐵、が、標、榜、か、い、提、身、を、ひ、ね、ら、し
て、頭、轉、倒、傍、の、柱、へ、投、付、く、れ、ば、其、名、に、は、似、似、熊、之、進
腦、骨、碎、けて、息、絶、え、たり、と、い、ふ、天、晴、の、御、力、量、旅、立
の、門、出、に、敵、の、片、割、を、仕、留、り、し、は、時、に、取、つ、て、幸、前、よ

し此奴の死骸は、捕ひなく和子様には、夜明けの内
に早く此場を立退き給へ左らば、と立別れ行く
も留るも有為の身の浮世の旅は習ひなる草鞋の紐
結びたる露頭み分けて出たる捕縛我親と佛生尼
誠の捕縛の墓にも詣で、大望成就して再び此
處へ歸り来る日を、根々枝の、手、向、草、音、へ、蒸、して、消
ら、る、萬、の、紅、蓮、の、細、道、を、幸、の、方、へ、と、降、り、行、き、け、り

●議會召集期日 前回の開議に於て十二月十五
日頃召集しては如何との議ありしも未だ議會に提
出すべき法律案の起草に着手せざる省もあり且十
二月十日とすれば年内に豫算査定を結了し得るも
十五日とせば其期日なきを以て寧ろ廿三日頃に
すべしとの議論もありて決定に至らざりしが多分
去二日の開議にて其期日も決定したるべければ來
る十日頃までには發布せらるべしと云ふ

●居留地新制度 改正條約實施準備委員の乙部
は過日來居留地制度に就て審議し條約實施後の居留
地を市區に編入する事を議定し之を内務省へ回送
したるに依り同省に於て、現時居留地市區編入制
度を起草しつゝありと

●五圓金貨 五圓金貨は經濟上其必要を以て
以て十月一日以來今日迄に大坂造幣局にて製造し
たる高は合計二十萬圓に過ぎずして其半は大坂に
他の一半は日本銀行に回送し同銀行引換準備の内に
加入しありと云ふ

●第二回水産博覽會後賞授與式 神戸に於ける
第二回水産博覽會は來る十二月九日午後九時を以て
後賞授與式を執行す其順序大要左の如し

●當日前九時副總裁以下委員出品人一同參場同
三十分總裁宮殿下御入場同四十分諸員若席同十
時總裁宮殿下御着席審査結了の旨を奏上し終て
事務官後賞人名録を副總裁へ付し副總裁より更
に總裁に呈す次に審査官長審査の實況を奏上し
次に總裁宮殿下御着席審査を終りて後賞者呼出し順
次總裁宮殿下より後賞を授けられ授與終て地方
長官總代祝詞奏上右にて式終り總裁宮殿下以下
諸員退散

海外貿易に關する (承前) 荒川領事の意見

依て今外國貿易振興の方案として左に意見を陳じて朝野當局者の注意を促さんとする
第一 直輸出貿易に志す者には外國の市街に支店又は代理店を設けしむること肝要なりとす
第二 中學校、商業學校等の外國留學の方法を改めて實用的ならしめ其卒業生は必ず外國文を以て自由に通信することを得るに至るを期し外國貿易に従事する者をして是等の青年手代を備せしむべし
第三 商業學生の外國留學を奨励するを要す而して其方法は種々あるべしと雖も或は政府より其學費の幾分を補助し其代に留學生を領事の監督の下に置き時々商業に關する報告を爲さしむるも亦一策ならん又支店代理店の數増加するときは獨逸人の如く各店に數人の本邦青年を派し其店の仕事を爲さしむる 傍語學及び一般商業の實務に慣熟せしむるの方針を執るときは一舉兩得の利あるべし
第四 精確なる商工人名錄及び商業信用交換組合の如きものを設け一方には信用ある各商工業者の名前を世間に知らしめ一方には陰險なる商の跋扈を防ぐを要す
第五 意匠、商標及び特許權の保護を十分にして商標をして其利を得るの道ならしむべし
第六 小資本の商工業者をして各々其業務に従ひ組合を設けしめ外國よりの注文を引受け又は賣込を爲すには皆此組合に於て取扱はしめ以て事實上大資本家と同一の働を爲さしむべし
第七 國家家を養成することを要す元來本邦に於て商品に關する意匠學の擴張を図るは必要なりと雖も之に先ち意匠に關し多少の知識經驗ある者を選び政府の費用を以て英、佛、獨、米諸國に留學せしめ意匠圖案を研究せしむべし
第八 前項の圖案家又は商業留學生をして歐米人衣食住の實況に注意せしめ我製品を彼等の實用の目的に適合せしむるの方法を研究して報告せしむべし
第九 機械使用を奨励して商品の一一定を圖ることを要す
第十 商工業者の組合をして其費用を以て國家家又は專門の報告者を歐米諸國に派遣せしめ歐米人の嗜好を研究し斷へず其變遷に注意し時々流行の新奇なる意匠模造等を報告せしめ進んで次に來るべき流行の意匠模造等に附き豫め其意見を報告せしむべし是等外國派遣の圖案家又は商工業報告者には政府より多少の補助金を與へて既勵するも亦可ならん直輸出品の分量に對して既勵金を惠與するよりも數年の後には却て好結果を收むるを得べし
第十一 結核七寶の美術品に關しては皇室又は政府に於て特に模範的製造所を設け一方に於ては我美術の發達進歩の先導ならしめ一方に於ては我特有美術の精神を發揮して外國に於ける我美術品の聲價及び需要を増進せしむべし (完)
●外資輸入の時機 政治上の開國を行ひたる今日經濟上にも亦開國の主義を取り其資本の内外を以て彼是論難するは愚の極と言ふ可く何時か低利なる外資の流入し來るは自然の數にして敢て怪むに足らずと雖も現今の時機即ち政府財政計畫の餘額として通貨は膨脹し諸物價昇騰し輸入は益々超過すと云ふ場合に巨額の外資輸入(一時に巨額の輸入は事實行はれざるも)を見んか資本家は大早に雲霓を望むが如く驚きし淋滞し居たる民間の諸鐵道及び諸商工業は再び大活氣を帯び來り願ふ圓滿なる有様を呈すべきも一時の虛榮にして政府事業のみにてさへ今日の如き困難を顧はし居る次第なれば通貨は益々膨脹し物價を始め貨幣は愈々昇騰するなるべく餘す所今日に倍し一層の困難を加ふるが如き事ならずや苟くも眞誠に我國家に忠實なる士は此の時機に就き大に考究すべきなりと某經濟家は云へり

改良蠟引紙壽賀本舖 博覽會有功賞銅牌 創設二十五年紀念

丸見屋善兵衛 改良蠟引紙壽賀本舖 護謄壽賀本舖

流行鬚形廣告 別製燈心入 千代田形 歌舞伎形 壽々女形 花の君形 製造元 東京四谷惠比壽屋本店

特許 人造珊瑚珠 緒及玉之部

玉寶堂 東京下谷池の端 須田町六番地

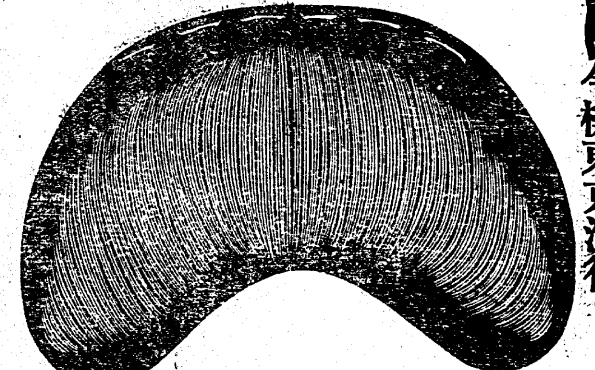
本品の特色 製造元 森川積善堂 丸見屋善兵衛

●流行の冬衣
 現今流行の冬衣に就き其様を披きて男女向き衣服をそれに見立んに其品類及び直段はさつと左の如くなり

●男物の部
 上等禮服一類
 上衣と下衣 何れも縹瀾を用ひ其地は御納戸の秩父絹袖口は矢張八丈とす
 三枚口表地 四十五圓
 同袖口 九十五圓
 同袖口 一四九十五圓
 羽織 縹瀾無双を用ひ五ツ紋とす
 無双表地 三十四圓
 仕立代 七十圓
 羽織 表は八橋縹瀾は絹とし黒八丈の半襟及び袖口を附け代價は 二十圓
 仕立代及び其地 六十圓
 仕立代及び其地 六十圓
 羽織 縹瀾無双とし縹瀾は淺黄袖を附け袖は別染の縮大巾の引返し奥袖に更紗形を染出したるを用ひ其地は黒八丈の半襟として其直段は羽織及び其地 九十圓
 仕立代 三十圓
 合計 一四四六十圓
 羽織 縹瀾を最上とす
 合計 一八四五十圓
 仕立代 一四五十圓
 袴 は博多両面縹とす
 合計 三十四圓
 仕立代 八十五圓
 以上總計 百八十四圓二十五圓
●女物の部
 通常服(上等) 上衣、下衣、羽織、帯
 表は市樂縹は御納戸絹を用ひ
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 下衣 表は風通縹裏は御納戸の秩父絹とす
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 羽織 縹瀾無双を用ひ
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 以上總計 二百八十四圓二十五圓
 右の外袴は縹若は之に準す

●同上(中等) 同上
 上衣と下衣 上衣の表は唐糸縹、裏地は花色縹とし下衣は吉野縹に花色縹の裏を用ひ
 上衣表地 八圓
 下衣表地 八圓
 二枚合計 一六圓
 仕立代 一四圓
 羽織 表は市樂縹、裏は八橋縹とす
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 以上總計 五十二圓八十九圓
●同上(下等) 同上
 上衣と下衣 上衣の表は縹糸縹、下衣は秋田八丈とし裏は上下とも秩父絹の縹裏、羽二重金巾の裾細しとし袖口は黒八丈を用ひ
 上衣表地 四圓五十圓
 下衣表地 四圓五十圓
 二枚合計 八圓
 仕立代 八圓
 合計 一六圓
●女物の部
 通常服(最上等)
 上衣と下衣 表は紋御召の八掛縹とし(袖口は同地)縹裏は排縹を用ひ其代價は
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 以上總計 三十四圓五十圓
 通常服(中等)
 上衣と下衣 表は紋御召の八掛縹とし(袖口は同地)縹裏は排縹を用ひ其代價は
 合計 一四四五十圓
 仕立代 五十圓
 以上總計 三十四圓五十圓
 通常服(下等)
 上衣と下衣 表は縹糸縹、下衣は更紗縹とし上下とも八掛及び袖口は縹縹縹を附け縹裏は排縹

大改良新製のまけ形



今様東京流行とうまけ形製造廣告
 別製燈籠入り
 自慢形
 どうしん入り
 じゅん入り
 どうしん入り
 三橋形
 縮緬裏色各種
 福助形
 燈籠入り
 くら形
 新橋柳橋流行
 いさみ形
 どうしん入り
 柳橋形
 別製
 一乃字形
 右之外御注文に應じ何形にても製造仕候に付何卒御注文を乞ふも當工場は年中各地方より御注文立込居候間御品切の前に可成御下越被下度候
 東京日本橋區横山町三丁目番地
 三橋商店まけ形製造部
 小問物問屋本舖 三橋兎喜次郎
 別製白粉

江川商慶賣品廣告
 龍甲珊瑚珠蒔繪物推朱彫各種
 舶來最上黒茶本ゴム櫛各種
 舶來最上人造ゴム無地龍甲ばら各種
 舶來最上人造ゴム象牙櫛笄各種
 本店發賣之ゴム諸種ハ會々米國丹ニ英國ノ諸賣ナル會社ト特約直輸入致シ
 居候間物品ハ精々相撰廉價ヲ以テ販賣仕酒一層御愛顧之程奉願上候
 東京市日本橋區横山町二丁目六番地
 發賣全 上總屋 江川 金右衛門
 本舖 同町十四番地 (電話浪花三百十九番)
 小問物問屋 同 支店

之用
 上衣表地 十五圓
 八掛口 八圓
 小計 一圓四十五錢
 羽織 是風通無双にて
 小計 三圓七十錢
 帶 是厚板織一松並しにて
 小計 四圓三圓
 以上總計 百十七圓九十五錢
 (但し長襦袢は之に付す)

同上(中等)
 上衣と下衣 上衣は唐織、下衣は更紗七子とし
 裾廻しは花色絹、胸裏は排絹、袖口は唐織子を用ふ
 小計 二圓七十錢
 羽織 米澤織の表、八橋織の裏
 小計 二圓九十錢
 帶 縹子の九帯にて
 小計 四圓五十錢
 以上總計 五十九圓九十錢

同上(下等)
 上衣と下衣 上衣は錦仙、下は更紗絹、裾廻しは羽
 二重金巾、胸裏は排絹、袖口は縹子とす
 小計 五圓五十錢
 羽織 表は節線織、裏は縹甲斐絹
 小計 一圓四十五錢
 帶 縹子と縹子の晝夜帯
 小計 八圓五十錢
 以上總計 三十八圓三十錢

禮服(一枚重ね及び三枚重ね)
 襟物一枚重 上下とも縮緬又は紋羽二重を用
 ふ地色は薄風、襟は四季の花模様或は光珠其他
 有職模様の刺繍にて五つ紋とし胸袂の胸は白地
 紋り縹か桃色地の柳紋り或は板の類とす
 表地及胸二枚分 六十三圓
 同上三枚重(十五六歳より二十歳)縮緬にて上中

下ども地色は梅風、四川風、藤色、薄小豆、流御納
 戸とし襟は光珠の草花又は布かし或は染落しと
 し(短により刺繍を入る)胸袂の胸は玉糊縮緬、
 染分縮緬或は染分の紋羽二重を用ひ其代價は
 表地及胸三枚分七十四圓乃至九十圓
 同上(二十歳より三十歳)矢張縮緬にて地色は薄利
 久、藍風、當世風等、襟は白上り或は黒彩色等
 とし胸は衣箱、刺繍 玉糊等の縮緬或は紋絹、或
 は更紗奉書などを用ふ
 表地及胸三枚分 六十七圓 仕立 二圓六十五錢

別染縮緬三枚重 上衣は黒にて襟は地落し
 染は霞かかしなどを寫し下衣二枚は流行向好の色
 とし襟は疋田形又は唐草模様赤地に白地の古
 代更紗形を染出たるものなど(何れも八掛附)
 三枚分 百四乃至百五圓 仕立 二圓六十五錢

同上色物 三枚とも地色は梅風、鳩羽、薄小豆等
 とし上衣は縹、中衣は竹、下衣は梅、何れも光珠
 風とし金泥を置き高なる刺繍を入れ上衣と中
 衣は通しして下衣の胸は有職模様とし即ち三枚合
 せは蓬萊山となるものなどあり
 三枚分 百四乃至百五圓 仕立 二圓六十五錢

變り模様 前に列記したる襟物に概して中流以
 上の高なる好みなるか案入れし意氣向きの模
 様物に其地質と色合は別に變りなきも歌文字を
 様に廻り種々意匠を凝らししものあり殊に其下衣
 に情歌などを染出せしものなどあり

美女丸

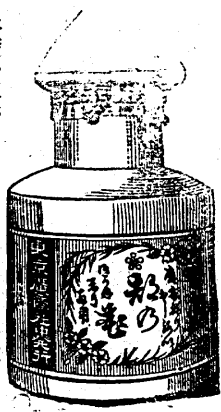
夫女子でなうては出家には致されせん。出家は
 出家の業をしなければならせんから。病身や体
 格の悪い者は出家には致されせん。近頃は身休
 の悪い子供があると坊主にでもして終へといふが
 中々頼り者には其行状が驚きません。此の美女
 丸は幼年九才にして骨太ではあるし。第一に勇
 猛勝れた種兒である。これを出家させやうと思召し
 多田の中善院へ登せました。中善院の住職も謹し
 めて段々佛學をお教へ申上げ、又禮經をす
 る事を教へるといへども固より出家をお嫌ひな
 る方もある。中々和尚のいふ事を用ひません。な
 れども幼年の事なれば、或はだまし或は叱り坏
 して法の道を教へるといへども、一句一点として覺
 える事なく、一山の稚兒を集めて戰事をしたり。
 或は本堂にて相撲取りをするや、經巻へ惡戯
 書をする時もあり、本尊様の首を抜いて捨てたり
 飾つてある花を散らすなどいふ事は度々ござ
 います。番僧役等がお嫌ひ申上たり或は騒しく
 此つたりすると、愈々たけつて役僧を打つや、番
 僧に疵を附るや、實に三ヶ月を経る中に散
 るの狼藉を遊ばし、住職も種々申上て見たが中々
 住持の申す事などは馬耳東風で、少しも用ひる様
 子がござりません。據ころなく中善院住職より右
 の由を満仲公へ申上された。此の時満仲公には聊
 さか酒氣を帯て在せられたる處へ、美女丸殿狼藉
 の義を言上をいたした。満仲公は美女丸は前の申
 付を背くところか僧さ奴ぢや、師父の詞を背くは
 人倫にあらず。此上は恥度申付ねばならんと傍ら
 を傍らに相成る時に、傍側に叩へ居りました兵衛
 頭仲光にお目をつけられ、如何に仲光、其方只今
 より美女丸を呼戻し首切つて持参いたせ、師父の詞
 を背く者を我子たりと忽せに致しなば、人民筆
 つて満仲を罵するであらう。上に怠りたれば下
 に愛ひあり、師父の大切なることを知らざる美女丸
 首切つて餘の手にも致す心腹なれば、急ぎ美女丸
 を召しよとて持参致せ。予は實檢致すであら
 うと仰せを承せはりし兵衛頭入郎仲光は、其儘に
 お受を致し、自分屋敷へ引取、早々迎ひの工夫を
 遣はし、つらといふお乗物の用意をいたさせ、是
 へお乗せ申して仲光の屋敷へ移運れ申上る。美女
 丸殿は大きに喜び、モ、出家をする氣遣ひない
 と思召し仲光の屋敷へお着に相成、廣間の正面に御
 符を掛け是に若君を請ひ奉つり、遙か下つて仲光
 兩手をつき頭を下げ、並久々に仲光の麗はし
 き容顏を拜し奉つり、仲光身に取つて喜び之に
 過す。今日佛迎へ申上しは餘の儀にあらず。幼君
 には多田の中善院に登り給ふといへども、日毎に佛
 行跡甚しき事を、中善院より君に申上げ奉つり
 しに、君公の佛言禁として師父の詞を背くは人倫
 にあらず。依つて美女丸が首切つて持参致せと仰せ
 附られし此の仲光、併し臣として君を討ち奉つ
 るは此上もなき大罪なり、依て佛幼君に敵め奉つ
 るは、只今より佛心を離れし、再た中善院に登
 り圓頂黒衣の姿にお成遊ばし、父君の佛言を全ふ
 すること佛孝行にて候なり。此の仲光は今日切腹
 いたし申願仕つりませぬ。佛幼君何ぞ其方は
 切腹いたす。佛何ぞは何事申願申すを通り。
 如何に君命とは申ながら貴所を討ち奉つる事思ひ
 も寄らず。トいつて君命を背かば是れ又大なる
 罪なり。然し仲光切腹致すの外なし。此上仲光を
 不便に思召されなば、幼君には出家遊ばし下さる
 やう此段伏て願ひ上げ奉つりませぬ。手を突か
 派を流して申上げた時、佛幼年とは申ながら暫
 らく佛幼考遊ばして、然らば子が出家は一敷せ
 は、仲光は存命仕つりませぬ。其子は出家する
 事は心に望まずといへども、忠義の仲光が切腹いた
 すと申すのを聞き給へるにはならん。只今より
 出家いたせば其方父上へ對しよきに能く致して
 呉れ、申上れば聰明の君、仲光を不便に思
 召され出家するとの佛一言は仲光満足仕つりませ
 る。此上は中善院へ入らせられ下し置かれまする
 か、如何にも登るであらう

都の花

製造發賣

東京市日本橋區馬喰町四丁目一番地

東京莊園堂



薄白粉價 金六十二錢 金三十二錢 金五十二錢 水白粉價 金廿十錢

天下無比衛生的顏料優等化粧品 芳香馥郁白美麗麗頗有勁靈妙奇劑



近世無比

關西特約大販賣

土州高知播磨屋町

化粧品 石鹼調製

山田篤三謹製

牡丹香の功能は能書に委敷しらす



價定 大 五錢 小 二錢

廣 告 一今般原料及諸品騰貴ニ付十一月一日ヨリ左之通り直上ゲ致候間此段御承諾奉願上候也

一白粉類 百斤ニ付 金參圓上ゲ 大阪白粉商組合

明治三十年十一月



此月顔印はみがきハ本年三月ヲ以テ發賣致候處未ダ日猶ホ淺シト雖日増ニ繁榮ニ趣キ候段難有奉謝候尙々不相變澤山涉用向之程伏而奉願上候敬白

司の艶 舖本 目丁二町馬傳小區橋本日京東 白敬 郎太德井永

會覽博業勸國內回四第 領受牌賞功有

精煉 香油 萬國 高級散



最良 香油 八千代

弊店製香油并煉油之廣く世上的好評を得品質の精良香氣の可愛販願の夥しき既に諸君の御信認に益々勉強御愛を辱する處也願の厚きに酬ひ奉んとす伏而御用の程奉冀候

區橋本日市京東 地番十町所田 店油香屋筒井



高等散原料凡テ騰貴致候爲メ不得止當十一月ヨリ三分方直増相願度此段豫メ謹告仕候 本品は化學作用により多年實驗して好成績を得るに依り一層原料の良質を撰採して精製したるものなれば從來世に行はる普通齒磨と其質を異にして香氣馥郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質を雪白健全な世界無比にして且該品を常用しむると齒齦を治し總て口中一切の病を患ふること疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸君續々御試用の上侈高評あらんとす 東京横山町壹丁目(近江屋) 製造本舖 天野源七 小間物問屋 全國到る處に取次販賣店あり侈最寄にて侈求を乞

●日佛條約案通過(佛國下院)

日佛條約改正案ハ會て佛國議會の委員會に提出され一旦否決せられたるにも拘らず遂に同委員會は可決の報告を爲すと同時に議會は閉會を告げたるを以て爾後の消息は否として聞を得ざりしか同議會は去月中旬を以て再び開會せられ其勢頭は於て日佛條約改正案を提起し下院は全會一致を以て同案を通過せる旨去三十日外務省へ公電ありたり元來同案は會初の經過頗る疑似の點多かりしに拘らず今日此結果を見るに至るは最も慶賀すべき事にて現任外務大臣アノトウ氏は自個の締結せる條約の事として極力同案の通過に盡力し遂に今春來の形勢を一變して此好結果を得たるものならんか此上は最早元老院の通過のみなれども同院は差して至難の事なるべく遠からず決定するに至るべしと云ふも猶日佛條約の進行も近來大に好況を呈し來りたりと云ふは愈々國定稅率實施の期も豫測するを得らるべく隨て其収入は一千萬圓以上にも達し又酒造稅增加も全國の酒造四百萬石と假定し千四百萬圓以上の収入を得ば至難ならざるべければ今日粉々たる増稅説も或は消失するに至んかと云ふ者あり

▲最近登錄商標摘要

- 品名、紅、白粉其他染料類 橫長方形の欄内に縱線と引連へて四箇に區分し其上段の面上左方に楕形の内に羽翼を有する獅子が地球儀を押し立てる様を顯し又下段の左方の面内には賞牌形樹枝及び布片等を配置したる圖 横濱及神戸居留地獨逸國
- 品名、石鹼其他藥劑數種 地球儀を押し立て上れる獅子の圖 同
- 品名、香水、白粉下 縱長方形の欄内に絲瓜棚を畫き其面上に布片を斜に顯したるもの 長野縣 宮島兼次郎
- 品名、石鹼其他藥劑數種 交叉せる毛太刀の上方に日の丸の扇を置きたるもの 横濱居留地獨逸國
- 品名、紅、白粉其他染料類 縱長方形欄内に横の前方案上に二人の婦人が腰を掛け各々隻手に扇を持ち内一人は傘を背後に懸したる圖 横濱居留地獨逸國
- 品名、同上 球葉の圖 ハンスヨハン、ホルム
- 品名、香油、髮膏、香水、柱香、燻香、化粧下、五種香 日本「ムス」の文字 東京府 松澤常吉
- 品名、洗粉 三升形の欄内に三升洗粉と記し欄の左下隅に牡丹の折枝を描きたるもの 池田 武兵衛
- 品名、石鹼 羅馬字「ユニバーチー、ボーイ」を記したる蓋上に洋裝婦人が童兒の頭を隻手にて押へ隻手にて拭へる圖 英國 トーマス、ヒュース、フランク、ザック、ザック
- 品名、同上 洋裝の童子が木片に腰を掛け石鹼玉の飛揚せるを凝視せる圖 同
- 品名、同上 子母線を五段に横置し第三線と第四線との中間上部に羅馬字にて「エンビシク、スタック」を記したるもの 同
- 品名、同上 横楕圓形に莖の折枝の根元を交叉し枝端を漸次欄の内邊に沿ひて挽りたる圖 同
- 品名、同上 子母線横楕圓形欄内中央に羅馬字にて「アンセント」を記したるもの 同
- 品名、石鹼其他藥劑數種 一線縱長方形欄内頂上に花輪及裝飾を有する丈高棒を立て其中央部より數條の長紐を結下り八人の童子女之を捕へて舞踊するの状を畫き該棒の中央に當りて遙に鳥の群飛する状を畫きたるもの 英國 アイサー、ヘンリー、アトキン
- 品名、紅、白粉、其他染料類 要部同上 同
- 品名、石鹼其他藥劑數種 圓形の地の面上に線及点線より成る圓形欄を顯し欄内更に二線より成る圓形の内欄を顯し欄内に複瓣櫻花一輪を顯したるもの 兵庫縣 村上治郎右衛門
- 品名、石鹼 牡丹花の中心より一匹の獅子が飛出さんとする圖 東京府 安永 鐵藏
- 品名、同上 線書二石鹼の四字を書下せしもの 同
- 品名、香露、香水、香油、柱香、燻香、片假名「モスロ」の文字 同 松澤常吉

皮膚專門大醫實驗明証



定價 壹拾貳錢三箇 參拾五錢

海軍御用品

百猫石鹼

グリスリンチリ
現今化粧石鹼として販賣するもの其種類頗る多しと雖も恐らく此百猫石鹼に優るものは無かるべし見よや諸君此百猫石鹼が如何に純良善美なるかを見よや抑も此石鹼たる某博士及斯道専門の學士等に就て秘法を受け之に弊店の經驗上の發明品を配合し且つ熟練の職工をして之を製せしめたるが故に其衛生的化粧品として有功無比なるは即ち諸名醫諸大家の証言に據て明瞭なり實くは全國同業者諸君彼の粗製濫造の瞞着品と同一視せず揮て販路の御擴張を賜らん事を猶需用者に對するの說明を載せて本能書に詳なり

本舖 大野金城堂

東京市日本橋區馬喰町

TRADE MARK
標商
平信博廉低格價良純質品顧愛君請以品製會界



又古まゝへ

維新の樂書

金看板御免

毛利屋 藤太夫

取次買取所

武田高運齋

内証取次所

石州濱田屋 十郎

藩州 福井屋 親子郎

同 稻葉 父子藏

藩州 高知屋 土佐次郎

藩州 島取屋 殿右衛門

藩州 岡山屋 當主郎

藩州 松江屋 親藏

藩州 土屋 采助

藩州 明石屋 佐右衛門

藩州 津山屋 城主郎

藩州 阿波屋 子郎右衛門

藩州 高松屋 京大夫

藩州 名古屋屋 前中郎

藩州 川越屋 養子郎

藩州 名古屋 前中郎

右之外内証取次小賣數多御座候間非常之節買入出
し可申候與取屋金澤も本家より乱入に付毛利屋同
様に賣出し候積に御座候得共筑波山太平山小屋原
に差出候見世之事に付當分見合居候外に意味合候
事に可仕と奉存候心なり

出店

東都小石川 水戸屋 殿十郎
同 神田 堀川 一橋掛
京都二條通河内屋敷 一橋屋 旗宿

本家調合所

毒河齋照軒製

右之書世見を撰候間御内々御覽可被下候

〔京都町奉行御取上に相成江戸御老中へ〕
〔御差出に相成候書付也〕

腰懸御茶菓子

口演

恐れ多くも公政の。御仁恵ふかき深川や。粹な
小梅のうらつゝ。隅田堤の若葉時。青い趣向
を其儘に。今度調練調進いたし。手廻の風味風
味を。四方の君子にねがふになん

一物 水わの霜 一物 たいこもち

一物 こがねせなす 一物 湯呑茶なんぢら

一物 字無の月 一物 湯呑茶なんぢら

一物 天知る 小倉しる粉

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

一物 湯呑茶なんぢら

狂言榜

五位の官に任せられし驚かしの狂言はかまにか
う物と見は斯レテあつたワキから助言の「上
もなき大名で候と名乗かけて「太郎冠者おるかや
アイ

萩大名 毛利大膳

三人片輪 福原越後

石 神會 津公

隨方角 島津和泉

柿山伏 春 藤

花盗人 中山侍從

水掛論 公 家 衆

針立處 酒井雅樂

膏藥練 王 佐 容 堂

可矢太郎 細川越中

末 廣 源氏長者

(まだある)

近代世談(抄録)

菊岡 沾 涼

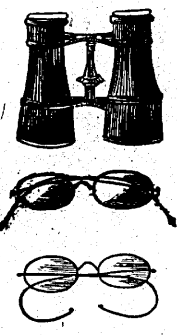
東山慈照院殿に始まる。諷と云は「詩經の大序に
曰く、風々也、教也、風以動之、教以化之、上は
字のごとし、下は福風の切、即ち諷の字なり、風
のおよぶがごとく、自然に徳化ひろまると心を付
て、諷諭の用義なり、又諷の字を用ふ、歌謡とつ
きて歌うたふなり、此作は多く佛者なり、江口
山姥は、一休の作といひつたへ、そとび小町は、
高野山實性院有快の作なきいへり、山本春樹の
所持、諷の作者の書に云、諷は四座の大夫作り
て、當座に能にしたるなり、よき人の作もあ
るなり
觀世大夫世阿彌作五十一番(名目略之又六十一番
あり
觀世小次郎作三十二番、同彌次郎作二十五番

謹告

各地御花主様愈々御盛榮之段奉賀候隨テ弊店義日増ニ隆盛ニ趣キ候段偏ニ御
花主様之御引立ト奉深謝候借テ從來各位御仕入ノ爲メ御出京御滞在中其旅館
へ商品ノ見本ヲ携帶シ店員ヲ差出シ居リ候處右ニテハ承知ノ通り數種ノ物
品ニテ到底充分ニ御撰定テ願ハレ候ト愚考仕リ候依テ今回改良致シ拙
店內ニ商品ノ見本陳列場ヲ設置シ數百種之物品ヲ一見御撰定相
成リ易キ様御便利ニ出來仕リ居リ候間何卒御出京ノ都度御繰合セテ御來被
下シ一覽ノ上續々御注文ノ程奉願候

各地御得意様御中

尾張屋商店 店主敬白



眼鏡類 製造販賣大擴張に就
諸君、近年は御老人のみに限らず壯年の御方でも御婦人
方でも昔な眼鏡をお掛になります、即ち風が吹けば眼鏡
を以て往來の埃を除け雪が降れば色眼鏡を以て是が反射
を防ぎ或は學生諸君の讀書にも眼鏡を用ひて近視を預防
し或は近視の人も適度の眼鏡に因て其自由を得るなど何
に就けても眼鏡の必要を感じて來たと云ふものは蓋し醫
學上の進歩に伴ひ世の人々が目の大切な事を知り參ら
れた結果と云はねばなりません、ソコで斯様に眼鏡の御
需用者が日に月に増加するを知りながら肝心な其供給者
たる眼鏡問屋が何處を風が吹くかと思はれ居るに居ら
れませぬ、本問屋は早くも茲に目を掛け力の及ぶ限りは
大體強大番號を以て多年眼鏡類の製造及び販賣に従事し
て居ります、茲から幸ひ全國各御得意様方のお眼鏡にも
ハハ眼鏡類は何でも製造元祖の尾張屋に限る様に品物も
大抵どの御評判實に有難い事御坐ります、依て其御座
勞、今度益々業務擴張の爲め從來に幾層倍の輪をかけて
時々流行の眼鏡を始め彼の軍用、銃鏡に必要なる眼鏡
鏡其他遠視鏡、顯微鏡等に至るまで品位も直度とも上中
下を取揃へて凹凸眼鏡はチャンと度に適合し、價格ハズ
ツト度外れと云ふやうに、御買切に御取引を致しま
すれば何卒此上ながらお目に掛られ御引立の程を偏に願
ひ奉ります

販賣品課目

和洋眼鏡一式
兩 遠 鏡
磁石寒暖計類
諸宗用沙珠數
硝子玉各種
藥店販賣之諸品ハ何レモ品質ノ精良ヲ旨
トシ或中賣藥鏡、望遠鏡、舶來眼鏡、寒
暖計之類ハ内地向新形ヲ撰ビ歐米ハ特約
シ内地製眼鏡ハ精功手練ノ職工ヲ以テ
確實ナル物品ヲ製シ精シ薄利ヲ極メ廉
價ヲ主トシ販賣仕リ候間續々御注文ヲ
乞フ

目下三町山廣市京東 耶次榮屋張尾

小僧十三才從 七八名
至急御來談被下度候

今春發行十八番、同善風作五番、宮増作(ワヤ)師)十番、三條西殿御作四番

右能本作者之事、依安東東殿御所望調進之、親世彌次郎長俊連々直談之事、物語申趣所注置如斯、此上猶可被閉合者也、

吉田藏人兼將判

諸の作の事、奈良土産にふ如く、尤てにはのあしき所、いひかけの理にそむけたる事もあれども、先は常人の作れるものにあらず、佛經のとりやうなどは、借もよほどよき人の所爲なり、按するに其頃の活僧歌人連歌師などなまに作り、能太夫にあたる、節をつけさせ、即ちその太夫の作分にしたるなるべし、春日龍神は右名目の書に、世阿彌の作とあり、此に我は時風秀行とてかき消すやうにうせにけりといふ、我一人して二人を名乗る理にあらず、又時風といはず、時風なり、此兩人は春日第一神殿武藝總持の補佐の臣なり、時を際にて呼あり、頼朝義經なり、しかし頼朝義經といはず、これを湯桶よみとて、文百第一の事とするなり、これを作るははにて、此わさへなき事はあはれからず、正しく他の作にて、世阿彌節をつけたるなり、かくうたへば、時風は秀行の苗字のやうになりたり (未完)

◎話樂率頭

作者不詳

開いてくりや、おらが親父はまづ此米の高ののに、五外づつしてやると、「ハテナを男も大きからう」「まづ足袋が十五文、雪駄が十七文だ」「ハテナをして下駄は「下駄が十九文」

●一はく隠者

大家よりいかなる吉日やら呼に来る、ハテナまつた事だ、一人もくも外聞がわるい、ついで行けば千正はしりもの、ハテナどうせう、よし、供を頼

ひとて、障のよかなや(行き、かくのわけを話して、さうを百正にて草履取にちよつと頼みたい、亭主も名をとらうより徳をどれとて、早やとどれで行く、本庵老しかつべらしく坐敷へ運り、首尾よく座をうかひ、ひか眼申す、玄關へおくれ出し、處が、本庵まづさばになつて、なむさん「天水桶のかげより、香屋がお草履預り居る

●途中の目録

二人づれにて話しながら行く、向ふから總髪茶仁体のもの來り、目録して別れしを見て、市ばう今の眉間じやくは何者だ「あれか、あの人の茶仁さ、かさやれ茶づきやいな」「イヤ茶じやア付合ぬが湯でつさやう

●手紙

友達手紙をひろひ、ばんの枕紙にいよとよろこぶ「その手紙をおれにくりや」「なにこまる一國へやる

●備者

備者品川へ引移、弟子ども家見の祝儀に行き、先生は繁華の日本橋をお見す被成、何の能思召御坐候哉、備者まじむな顔にて「唐二里近し

●首賣

本所割下水のはどりを、首賣らうくとせつて歩行をよび込み、首はいかほとじや、一兩で御坐ります、それは下直なりとて傍求めなされ、政宗の刀を出され、せたん旗へつれ行きしに、首うり身をひねり、たもとより張子の首をなげ出す「己が首を調へたぞ」「我が首は看板でござる

●夕

息子坐敷牢へ入れ置きしに、深川よりと上書したる夕、親父の手へわたり、ひらき見るに、吉原の焼出されどみへて、随分細字に紙のいらぬやうに短かく認め、物のいらぬ小指を切り、香箱で有さうな處を、給具に入れ送りしを、親父かんしんし息子が前へもち行き、是見あろう、世間では此様に商賈に身をいれる (未完)

醫學科大學教授 正六位 下山順一郎先生証明
并諸大家實驗贊証得
定價 壹個拾五錢 三個人四拾二錢
製造發賣元
錦田善次郎
備録所ハ全國至ル處ニアリ

化粧のつよみの効能
あふれ。水虫。皮膚病。疥癬。性の人。
山田氏謹製
東京市日本橋區通堀町五番地

化粧各種石鹸問屋 山田氏謹製

煉 定價 共口瓶入
小瓶 四錢 新大 十三錢
中瓶 六錢 極大 廿錢
大瓶 八錢 別大 卅五錢
定價
小瓶 四錢
大瓶 八錢
本舖 東京日本橋區 横山町二丁目
電話 漢花 四十二番
東京小問物御商組合中





狂歌

ひと骨皮の大人に勝はれて向島なる萩之園に遊びしに今をさかりの菊の花目づからたさものととなりて茶室の窓にかはれるなを得もいれざるにまいて池のあたり世をすねし赤松に萬紅葉のはひまつはれるさまの歌がらに見捨てたくて

このつゝ男松の枝に取つて 恥かしうに萬もみぢする 紫の雲も見へたる小廂に 紅葉のあけをうばふ夕は 翁てふ其名をめで、年よりの 子を孫竹にありく菊園

一瓢子兄に先鞭を著けられいと海しくは思へどおのれ歌よむわさに拙なればは陰方なく天窓をかきながら筆をとりて 萬道ふや蝸牛より早いほど 龍田姫朝日夕日をうらおもて 丹誠のしるしは菊に云はせけり

●尾張名所の内 田中豊真

草薙のみつるきこに納りて おさまり難き代はなかりけり 知多浦 沙くもりあどなく晴れて知多の海の 浪路のかさりてれる月かな 廣小路 一筋のひろさ街の道の邊に みどりるを添ふる青柳のよと 前津 雲りなく夜の木の間に照る月を 前津の里にさゆきて見ん 八事山 月の夜も花のあしたも訪ふ人の 絶ゆる間もなき八事山かな

小生去頃より憂性貴之加若兒とか云へる病に罹り日に増危篤に陥り困難に堪へ家たるより某ドクトル先生の診察を請ひしに是には別に治療法とてなし只毎朝早く起き家内親しく五帝を守り節儉を旨とし費へを省き怠惰に流れず大酒大食を慎み憂鬱をせず口に強らず短氣を忍び家業を専一に勉強すれば此病おのづから全癒すること請合なりとの仰せを聞き爾來及ばすなから其養生法を守り居りしに此節は大いに輕快を覺ゆるに至りしを喜びて精出せば貧の病ひも癒はて、 幸ある身にすなりし嬉し

口上茶番人物競

其九 踊の師匠 私しは踊の師匠と申お題でござります(と黒の鉢へ青年青の七枚の葉が舞りしもの入れ水引を掛たるを出し)即ち黒の着附で御坐ります(と黒の鉢を見せる)夫に鉢に掛たる水引は立矢の字でせう、ソコで踊の師匠でござりますから所作事を御覽に入れます(と青年青に附て居る札を見せ)即ち是れが所作の七變化で御坐ります

餘興俳句募集

雪中庵志宗匠撰 冬季混題五句合 (荷思利古門飛の 天地人番外五客(美景進呈(入花三錢二より二錢郵券代用不苦) 切本月十八日限但し半紙半額を縦に一組つゝ文字鮮明に抄認め住所氏名抄雅號等一々付記可被下候 右抄知己友人等抄勸誘被下澤山抄 投稿の程奉希望候 東京市淺草區須賀町十九番地 玉詠屈所 西森骨皮 正誤 前號一瓢子君の狂歌中煙瓦屋の月とせしは意の誤

Advertisement for '玉の肌石鹼' (Jade Skin Soap) by '世界無比' (World's Best). Includes an image of the soap box and text describing its benefits for skin care.

Advertisement for 'CRUDE & CO CHICAGO' featuring '御用品' (Essentials) for the military and schools. Includes a logo with a bear and text listing various products.

Advertisement for '安藤井筒堂' (Ando Jintaro) featuring '地方特約販賣店' (Local Special Sales). Lists various branches and products across different regions.

Advertisement for '善丸' (Shenmaru) featuring '小問物問屋' (Small Goods Dealer) and '丸見屋善兵衛' (Marumiya Shinsaburo). Includes a circular logo and text about their products and services.

●通貨收縮の方針

近來の經濟を論ずるものは皆通貨膨脹を極端に非難し、通貨收縮の方針を以て唯一の救済策を主張する者多し。然るに、通貨收縮の方針が、實に經濟を救済するに足るべきものであるか、或は、實に經濟を更に窮乏に陥れしむるに足るべきものであるか、之を論ずるに當り、先づ通貨收縮の定義を明らかにするに當る。通貨收縮とは、通貨の量を減少せしむることをいふのである。然るに、通貨の量を減少せしむるには、如何の方法を以てすべきか、之を論ずるに當る。通貨收縮の方法は、大體二種あり。一は、硬貨の回収、二は、紙幣の回収である。硬貨の回収は、硬貨の製造を停止し、現行の硬貨を回収して、新硬貨を製造するに當る。紙幣の回収は、紙幣の製造を停止し、現行の紙幣を回収して、新紙幣を製造するに當る。然るに、硬貨の回収は、硬貨の製造を停止し、現行の硬貨を回収して、新硬貨を製造するに當る。紙幣の回収は、紙幣の製造を停止し、現行の紙幣を回収して、新紙幣を製造するに當る。

たると大に回収の目的を達すべくも思はれず左ればとて目的を達する程に引上げんか夫れこそ經濟界は支離滅裂の慘狀を呈するならん昨今の經濟界には金利引上げが案外効力を有することと謂ふを知るに足るべし然らば即ち何を以て通貨收縮の道を選ばんか他なし

正貨準備減少の方針

を執るに在り前に配せし如く需用に超過して流出せんとする正貨を押へ且つ之に巨額の資金を外國より輸入せしめ之を國內に供給せしめれば益々需用に超過し通貨膨脹を來たせしものなれば之を治療するには制限外兌換券を回収するは勿論にして同時に正貨準備の増進を海外貿易の消長に任せしむるに在り即ち本年の如き輸入超過の年病に際しては正貨をして幾々と流出せしむべし決して從來の如く強硬を施し若くは人為を以て之を妨ぐる等のことあるべからず斯くしてこそ通貨收縮の道を得べし

一、需用供給に適し物價初めに平準に歸するを得ん則ち從來の如き姑息蠲削の策を捨て正當の道に歸復せば經濟界の調和期せずし求むることを得ん

二、開く處に據れば債金は既に彼地に於て支拂方を豫定せられ亦我國に取寄すべき物なく公債の殘金も餘す所僅に二十萬圓に足らず而して是等も差控きて取寄すことなしと云へば今後に於て初めて外國貿易と正貨準備との關係を明白に知り得べきか唯茲に相憂すべきは政府が大増税を斷行するの勇なく明年度と財政を有耶無耶の間に糊塗し萬一に再び外債募集の公債償還に云々如きことあらんか從來の痼疾に一層の惡症を添ふるに至るべし左ればとて内地に公債を募らんか徒らに資本家の手より資本を奪ひ生産界をして益々萎靡せしむるのみ故に政府今後の財政計畫は増徴以外に殆ど他策なきものを知るべしと云ふものあり

●御断 前報印刷の無職工誤て組込を取違へ爲めに丁數の錯誤を生せしを中途に於て心附早速訂正は致させられたり或は其儘にて配布せし紙面も之を知らず購來は可成注意を加ふべければ今回の處は愚からず御断を乞ふ

東京小問物商報印刷部

金貨本位の所謂

抑も新製われしものは歐洲にて「ヒュー・フレイ」(Huey-Fley)と云ふ目今流行の新製なり同地の紳士淑女は専ら應用のものなり効力に及び化粧品として端一の賞賛せられたる尤も高評を得たるものなり今般初めて我國へ輸入せしものにして今我手に入るや同時に我政府は金貨本位の御發令に相成り度茲にヒュー・フレイは化粧品中の本位を占めたるものなれば唯に金貨本位の紀念とするの思想の起きたり以て獨斷の句を金貨本位と號して新製あれしらず金貨本位と稱す則ち別配の効能に著しきこと論より証據を以て貴重品の要品と知り玉ふべし

金貨本位の効力は倍なりすりに拾倍す

定價 貝入貳錢 鑲入五錢 特別金貳拾錢

登錄 金貨本位あれならず効能ハ

名に異ならず微細にして美ならずし

衛生上よくべからざる化粧品中第一の品なり

しもやけひびひかきれはさびさびすすによし

われしやうの人は一日もかかべからざるものなり

皮膚のしみみきで光澤あるわしき人によし

いろしよくやをいはず大効あり

東京市本所區板倉町二丁目

本舖 正倉軒 楠久兵衛 謹製

東京市神田區板倉町

特約 賣藥師大木口哲合會社

今般御断申越之各位 特別割引之外ニ石版摺美麗ナルフラスコ及び看板等進呈仕候

製造元 大野金城堂



製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂



製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

製造元 大野金城堂

●家藏賞典處分法 明治元年九月海關施行以後家藏賞典を有したる者にして金銀公債證書發行に當り其家藏に對する全部の給與を受けざる者若くは相當額の給與に不足する者及び家藏賞典本還に對する相當額の給與に不足する者等の爲め豫て第十議會に於て協賛を経置きたる家藏賞典處分法を發表せらるる本法施行の日より一ヶ年内に願出するにあらざれば本法の給與を受けること能はざる規程なり

●手荷物運搬及見送切符の實施 鐵道作業局にては像てありし如く停車場内旅客手荷物運搬營業を今日より先づ左の各驛に實施す
新橋、品川、横濱、國府津、京都、大坂、三宮、神戸又停車場入場切符も本日より左の各驛に發賣開始する由

●新橋、品川、横濱、名古屋、京都、大坂、三宮、神戸 ○圓銀處分(阪谷芳郎氏談) 極印付圓銀を臺灣朝鮮に送るに付て空々たる新聞雜誌の内に政府が圓銀を處分する爲めの窮策なりと謂するものあり余は隨分迂闊の評なりと思ふ
政府が處分せんと豫定せる圓銀は七千餘萬圓(今日の日貨にては四千餘萬圓に止るが如し)なり今朝鮮臺灣に送りたるは僅々數萬圓にして今後多少需用ありとするも餘するに足らざるの數額なり且つ又た臺灣の如きは時價を以て圓銀を交付せんとするものなるが故に政府の計算に於ては今日の相場にては寧ろ遂減なる勘定なり

朝鮮は今日米の輸出盛りにて圓銀の需用多し今圓銀を該地の市場より引去る時に彼我の貿易上互に不便あり此不便を避け彼地に適當の貨幣を存在せしめんとする必要より彼地在留商人の内に極印付圓銀通用の説起り果して行はるゝや否試験の爲めに回送したるに過ぎず此事たる圓銀處分の爲めにあらすして朝鮮貿易貨幣供給の爲めなり

臺灣の漸次我金本位を實施せざるべからざるハ勿論なり然るに臺灣と支那大陸と政治上の關係一切れたるも經濟上の連絡依然然り年々大陸より臺灣に出稼に來る勞力者は三四萬人にして一人平均

二十圓を貯蓄し去るとすれば一ヶ年六百餘萬圓の銀貨を持去るの計算なり又銀貨定の租税を急に金貨納せば土人の感服果して如何されば置く其成行きに任せ追々金貨に導くを以て上策とす日本人は性急にして事を誤るの癖あり經濟上の事は法文の方のみにて行はれざることを多し極印付圓銀を送りたるは政府が未だ永久に銀貨の通用を必要と認めたるが故にあらすして當分試験するが爲めなり又同時に外國貨幣の通用を禁止したるは幣制の統一に一步を進めたるのみ

余は圓銀を法貨として存在せしむるの意見を貨幣調査會の時以來主張したるも今や十月一日の勅令により急よ禁止となり而して其後の景況による内地にては大抵交換を了し殆ど請求者なき有様なれば此上は外國より歸り來る分を待つのみなり然れ共外國に出たる分は必ずしも交換の義務なきものなれば交換期限を極めて短縮するも今日は何等の差支を見ざるなり圓銀の在高位は今日までの實況にても非常に少なきが故に其處分は豫想よりも容易にして今後交換の高次第にては日本銀行をして準備の四分一を銀にて積まじむるの必要なきに至らんも知るべからざるなり

米國の銀黨は次の大統領選挙に「ブライアン」を推し大に盛り返さん計畫の由にて近頃は一國限りの兩本位を實行せんとすの說を立るに至れり從て選舉期の近寄に從ひ銀は自然昂騰の傾向を示さんも知るべからず是は銀の處分には好都合なるべし

印度は漸然造幣局を銀の爲めに再開することを拒絶し近々金本位を實行せんとす斯なる上は彼我の貿易は爲替其他の關係よりして益々盛んに趨くべし

支那は銀本位にあらすして銅貨本位あり故に物價は銀に作はすと近頃昂はりたる一新報なり果して然らば銀貨流通の口實は消滅し購すべし日本の經濟も財政も金本位實施後益々倫敦巴里の市場と密接し來れり金貨實施の成績は良好にして前途多望と云ふべきなり

近來同名之類似品種々有内最も品質善き最奇効ある最古、發賣せるは獨り弊店ののみならず

元祖 ねりりすま

●本品化粧料にして其名の如くはだの荒る事を知ず猶ひ、しもやけ等に奇効ある旨征清軍人諸君より御懇篤なる禮狀を賜はれしは特に弊店の名譽とするの所なり●本品の定價は一錢と二錢

●賣捌上御便利の爲り五百個以上御尊名を書加申候

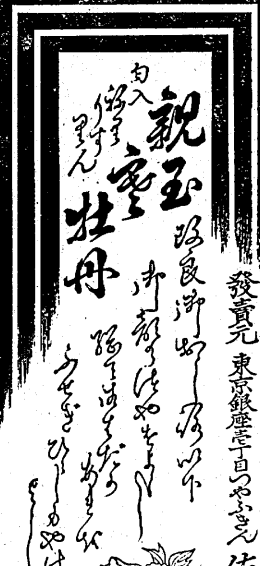
●東京小間物卸商組合 各店に於て特約御賣致候間便宜御注文被仰付度候

●製造本舖 ●東京市日本橋區寶町三丁目一番地化粧品專賣店 ●若葉屋兼吉

發賣元 東京銀座三丁目やえ佐木玄兵衛

親玉牡丹

●定價 一貝 二錢 特製 五錢



KINKO DENTIFRIGE 磨齒庫金



定袋入 金三錢 瓶入小形金拾錢
價大箱入 金五錢 全 中金拾五錢
表桐箱銀付金十錢 全 大金廿五錢

近來衛生有功と稱するの磨齒粉も少からず多し多くは是れ針小を棒で吹聴し甚だ敷は粗製濫造を以て需用者購するものあり豈に憤歎に堪ざらんや弊社には其秘法を受け此金庫磨齒の精製販賣す抑此此磨齒の和洋折衷の新法にして常に此磨齒を去るに特効あるが故に及口口臭全去るに如く云ふ山崗等の諸患は忽ち拭たるが如く去治し磨齒を預防する事最も妙なり歎くは世の衛生に注意し交際を重んじ命は食に在り男女老幼を解せず常に此金庫磨齒を月用して此廣告の虛ならずを確信し給へ

式部石給 發賣元 東京堀江町二丁目 平谷合資會社

三十年十一月開業廣告

● 弊店は從來製造ニ從事致居リ候處今般當
● 所ニ於テ製造販賣店ヲ開業仕候ニ付今般當
● 他ニ比類ナキ大勉強ヲ以テ低價ニ販賣仕候間
● 何卒御引立續ク御注文之程伏テ奉願仕候間
● 東京新形影入製造商會
● 日本橋區横山町二丁目十一番地
● 芝區神田町十九番地
● 支店 全支店



抑此はやかね世にありし類に異リ幾年を
● 經ル其効能に異變なく輕便にして染まり易く
● 濡れも二合をさくる黒色を出して永く其美を保
● ち又能く口熱と除去強ひ齒をしめる等其効能の著
● るしく無比の良品なりと一度御使用ありて御評判
● ありんとぞん

特約店 馬喰町伊勢屋幸吉 通油町 村田 藤七
● 大和屋 萬屋金五郎 通油町 大和屋 小兵衛
● 通旅籠町 村田宗清 馬喰町 三河屋 善兵衛

水晶 高標 高等化粧

きめを濃やかにし顔のあれを直す
冬向のおしろい本品にかきり舂

發賣元 東京市京橋區山下町一番地 金 牡丹
特約店 東京小間物問屋各店

新發明化粧
花のかわた 小町肌卸直段表

專用 小町肌卸直段表

別引法... 一箱... 五箱以上一箱二付... 三十錢
● 小町肌卸直段表... 五箱以上一箱二付... 三十錢
● 小町肌卸直段表... 五箱以上一箱二付... 三十錢

小町肌卸直段表 謹製

● 小町肌卸直段表... 五箱以上一箱二付... 三十錢
● 小町肌卸直段表... 五箱以上一箱二付... 三十錢

卷食用パイプ
薄荷パイプ材
ライススベーパー
各種製造元
舶來パイプ問屋

東京市日本橋區
通鹽町四番地
菅谷爲吉

世界無二藥齒磨玉蘭

衛生 齒磨

ROYAL TOOTH PASTE

目丁貳町網小區橋本日市京東
製謹郎三吉屋勢伊

音羽柔

此はろいは無鉛毒も含んで無事な事なし殊に...
● 事なし無鉛毒の句讀都として免く邪氣を拂ふ一度此白粉を用ゐる時は他の鉛毒の用ゐるを知る可
● し第一硫黄氣ある温泉に入時有毒白粉を附て入浴すれば忍び黒色となれ共無鉛毒音羽粉を附て入浴す
● る共變色する事なし

定價 水おしろい 白粉 金十錢 廿錢 卅五錢 五十錢 一圓 (爲替神田局)

東京市橋區新富町七丁目七番地
元祖發明製造元音羽屋上菊五郎

發賣元 橫濱長者町 秀善堂
● 大和屋 萬屋金五郎 通油町 大和屋 小兵衛
● 通旅籠町 村田宗清 馬喰町 三河屋 善兵衛

特約店 東京市京橋區山下町一番地 金 牡丹
東京小間物問屋各店

内外諸國に特約販賣山崎帝國堂

東京市外神田區花房町角

尾上榮三郎
尾上博愛堂
尾上博愛堂
尾上博愛堂

殊ニ教育並ニ海軍ノ如キ今ハ時勢ノ相違スル機
關ハ具リテ水雷ノ如キ又電氣ノ如キハ事ハ故ヨ
リモ發達シ居ルモノアルナリ然レモイカニ農商
工ハ依然トシテ振ハザルモノアルハ何ゾ果實
我國民ハ眼前ノ事ニミテ難儀トシテ敢テ將來ニ向
テ大建築ヲナサントスル基礎ヲ作ルノ人ナキ
ニ依ラズンバアラス故ニ今ノ協心努力ヲ以テ事
方トモ私心ヲ棄テ感情ヲ去リ協心努力ヲ以テ事
業ノ事偏ニ相互ノ決心ヲ存セント信ス
ルナリ

實業團體ノ精神 茶葉家ノ如キ全國百二十萬
人ヨリ出テラレシ半斤宛ノ茶ハ六十萬斤トナ
リ之ニ依リテ漸ク年來ノ商權ヲ恢復スルニ至リ
ハ最モ喜ブベキ所ナリ尚ホ他ノ團體ニ於テモ
益々決心ヲ固クセシムルヲ望ム

我國ニ取リテ最モ大切ナル時期 明治三十年
ヨリ四十年迄ハ最モ容易ナル時期ナリトス
ヨリ四方ノ敵中ニアリテ武力ヲ擴張スルノ國家
ノ成立自衛上ニ已マテ得ザレドモ此目ノ達スル
ガ爲メ先立ツモノハ金ナリトモ思ハザル可カラ
ズ我國ノ現狀ハ年々輸入超過ノ形勢ナルガ輸出
ノ之件ハザルガ爲メ外國品ヲ購入スルノ金
ナリテ生計ノ維持ヲ以テスル能ハザル結果アリ
是我生計ノ維持ヲ以テスル能ハザル結果アリ
ルガ故ナリトス殊ニ驚カセキ一側ハ彼ノ敗北ノ
生計ノ如キ一時三千萬個ヲ輸出シ此金百二十萬
圓ニ達シタルモノ近時ニ至リテ其數額ハ四倍ニ
達シ一億一千萬圓ニ及ビシガ其代金ハ依然前
萬圓位ニ止ルニ過ラザルモノハ各自互ニ目前
ノ私利ニミテ汲々トシテバナリ

戰勝ノ結果我國モ今日ニテハ世界強國ノ番附ニ
入り四本柱ニ坐リタル以上ハ泣クモ五角ノ爭ヒ
ヲナサザルベカラズ然レモニ体力弱クシテ番附
ニミテ位スルハ男子ノ面目トセザル所ナリ故ニ此
体力ヲ養フハ爲メ以テ體育ヲ專ラシテ勉メ假令
隣人ニ睡セラル、モ將來ヲ慮リテ之ヲ忍バザル
ベカラズ不肖ノ如キ屋敷ヲ政府ヨリ妨グラレタル
モ之ヲ耐ヘ忍ビテ今日ニ至リシモノハ日本精
神ノ目的ヲ達スル途ニ於テ船中相爭フハ大日本精
神ノ不肖ノ今回歐米巡視ニ就テハ別ニ名案名號ト
シテハナク矢張り相繼ラズ内地ヲ視察セシト同感ナ
リト云フニ過ラザルナリ云々

右ノテ來實及會員一同ハ折掛弁當ニ瓶詰酒ヲ受取
リ午後六時閉會シタリ當日ノ來賓ニハ九鬼勇衛、
東京府知事代理トシテ鈴木書記官、農商務省高等

官ニ臨時視察會事務官、商品陳列館長、在京實業
兩院議員、各區長、警察署長、高木兼寬、金子堅
太郎、武井守正、矢野次郎、安川繁成、佐久間貞
一等ノ諸氏ヲ始メ市會議員、各新聞記者、實業家
等百餘名ナリキ

報告會了後委員ハ更ニ別席ニ於テ協議會ヲ開キ
事項ヲ協議シタリ

一 來ル十九日午後二時當務會開ニ於テ前田正名
君報告會ヲ開キテ事

但シ會費一人金貳圓五拾錢トシ本月十六日
迄ニ五二會東京本部へ申込ム

本日ノ報告會ニ於テ最モ熱心ニ前田君ノ報告
ヲ聞カント欲スル重立ヲタルモノハ概シ當日
委員ノ任ニ當リテ會場諸般ノ幹旋ニ邁ナケル
ハ更ニ日ナリテ前田君ノ談話ヲ親シク聽聞
シ兼テ同君ノ勞ヲ慰セントスルノ旨意ヲ以テ
結局本項ノ如ク協定シタリ

一 本月十六、十七、十八日橫濱ニ於テ開ク實業
大會へ出席スル東京本部代表者ヲ五名トシ會
長ノ指名ヲ請フテ定ムル

自明治廿九年四月至三十年十月
第一回五二會東京本部會計報告
(明治三十年十月廿五日報告)

收入之部

一金七百七拾圓拾七錢也 收入總額

金壹百七拾五圓拾錢也 本部經費各部ヨリ徵收高

金拾圓 紙工部ヨリ廿九年度分
金拾圓 糸物部ヨリ廿九年度分
金拾圓 莫大小部ヨリ廿九年度分
金拾圓 小間物部ヨリ廿九年度分
金拾圓 紙商部ヨリ廿九年度分
金拾圓 陶磁器部ヨリ廿九年度分
金拾圓 漆器部ヨリ廿九年度分
金拾圓 金銀部ヨリ廿九年度分
金拾圓 彫刻部ヨリ廿九年度分
金拾圓 象型鑄造部ヨリ廿九年度分
金拾圓 婦人小間物部ヨリ卅年度分
金拾圓 煙草部ヨリ卅年度分
金拾圓 煙草具部ヨリ卅年度分
金拾圓 漆器部ヨリ卅年度分
金拾圓 小間物部ヨリ卅年度分
金拾圓 紙商部ヨリ卅年度分
金拾圓 織物部ヨリ卅年度分
金拾圓 洋傘柄工部ヨリ卅年度分
(八名分)

金貳圓四拾錢 鐵道部ヨリ卅年度(四名)
分

金貳圓四拾錢 雜種卅年度(壹名分)
分

金貳圓五圓也 特志家寄附金

金拾五圓 池田鐵三氏ヨリ寄附
小間物部有志家寄附
三輪兵衛氏
前川忠兵衛氏
大塚英之助氏
淺井成成氏
(以上八名贈出)

金拾五圓 煙草部役員諸氏ヨリ寄附
若田林兵衛氏 村田七右衛門氏
村田小兵衛氏 小野塚清助氏
千代村伊三郎氏 岡田清兵衛氏
金井五郎兵衛氏 中里傳次郎氏
野崎彌吉氏 宇田川伊太郎氏
(以上拾名各貳圓七拾錢八圓贈出)

金拾五圓 町田徳之助氏ヨリ寄附
津川總助氏ヨリ寄附
柴田源助氏ヨリ寄附
小林幸次郎氏ヨリ寄附
下關嘉兵衛氏ヨリ寄附
飯田想七氏ヨリ寄附
林祐祐氏ヨリ寄附
增尾重三郎氏ヨリ寄附
能勢久成氏ヨリ寄附
岡田來吉氏ヨリ寄附
煙草具部役員諸氏ヨリ寄附

但 杉谷庄兵衛氏 川口興兵衛氏
谷口熊五郎氏 關谷大次郎氏
植村謙次郎氏 佐藤伊右衛門氏
小林利兵衛氏 以上七名各五圓贈出
高柳彌次郎氏 西山廣太郎氏
佐藤政次郎氏 若崎五郎氏
永岡武兵衛氏 (以上五名各壹圓贈出)

但 婦人小間物部役員諸氏ヨリ寄附
幹木久左衛門氏(貳圓) 大西榮輔氏
中西三郎氏 山下善太郎氏
森村健兵衛氏 高橋善吉氏
原田久兵衛氏 森村善吉氏
平田文吉氏 (以上八名各壹圓贈出)

金壹圓七拾錢 煙草部 收入
但シ廿九年春本會發會式ノ際決算殘金松尾儀
助氏ヨリ受入

朱 金貳拾圓 森村市左衛門氏ヨリ時借
字 金拾八圓參拾錢 八屋福島宜三氏ヨリ時借
金百五拾圓 森村市左衛門氏ヨリ時借
支出之部

一金七百五拾六圓四拾四錢八厘

此 金貳百九拾貳圓五拾錢也 俸
但事務員(二十圓)書記(十圓)小使(六圓)等ハ
月給手當等支給

金六拾八圓也 家
金貳拾八圓七拾九錢也 會
但諸君會議席料辦當其他雜費 費
金壹圓八拾錢也 旅
但本部理事橫濱出張、事務員八王子支部へ出
張

金壹拾九圓六拾五錢也 通
但郵便切手及電信料等 信
金貳拾四圓七拾貳錢也 器
但書類、簿籍、機、其他雜品 具
金六拾圓八拾八錢也 印
但會員証、本部規程、領收証、入會用紙、 費
請書用紙、其他報告等印刷代
金壹拾壹圓八拾七錢貳厘也 筆
但會員名簿、諸帳簿、諸紙、卷紙、筆、墨
、西洋紙、狀袋、証券印紙等 費
金五拾九圓九錢八厘也 雜
但新開切掛掛料、使買、配運賃、乘車料、
炭、油、點燈料、其他小買物等 費
金拾七圓五拾錢也 時
但前田君渡米送別會へ寄附出金 費
金百圓也 金
但本部事務所借家ノ爲メ敷金トシテ家主へ預
入

朱 金壹拾八圓參拾錢八厘 負債償却
字 拾參錢八厘福島宜三氏へ返金
差引金拾參圓七拾貳錢貳厘 現在金
右之通相違無之候也

明治三十年十月廿六日

日本橋區上横町拾壹番地
五二會東京本部
本部長兼會計主任 森村市左衛門
本部庶務會計係 山本 尚健

參 考
一金百圓也 借家敷金預ケ
一金貳百八拾九圓八拾錢也
是ハ各種部ヨリ本年未迄ニ徵收スヘキ三十
年度經費見積金額

此ニ口金壹百八拾九圓八拾錢 有金ト見做ス

●理事特選 東京小間物商報主幹西森武城君は
今回前田監督より小間物部の理事に特選せられ
たり其特選状は即ち左の如し

西森武城 殿
五二會は各業永遠の利益を目的とし徳義を以て
組織したるものに有之依て今般東京小間物部理
事に特選候補御盡力切望致候也
三十年十一月 前田正名 花押

本組合録事

●役員會 本月十三日事務所にて役員會を開
き左の件々を協議決定したり
一各業組合聯合の件
一組合規約訂正の件
一明年度總會の件

●新規加入者 今回本組合へ加入の旨届出あり
たる人名左の如し
日本橋區横山町二丁目十一番地
柿島忠七君
●組合員移轉 本組合員日田馬造君は日本橋區
藥研堀町十九番地へ移轉の旨届出ありたり

報 載

●同然組合發起認可申請書 本年九月農商務省
令第十七號重要輸出品同業組合法施行細則第三條
に據り東京府廳へ差出すべし發起人認可申請書に
は左の事項を記載せる参考書を添付すべし旨去十
二日東京府令第百廿一號を以て達せられたり

一組合の設立を必要とする理由 二組合の名
稱 三組合を組織する營業の種類 四目的
及其業務 五組合の地區

●特許條例改正案 第十一議會に提出する等な
りしが英國版權同盟會に出席中の鐵部審判官藤朝
で提出を見合す事となりたれど新大臣次官の意
見に依りては或ひは提出するに至るやも知れずと
云ふ

●加奈陀との互惠條約 英國が加奈陀との間に
帝國統一政策に基きて大に互惠の精神を有する新
關稅則を結ばんとする爲めに障礙となるべき獨
逸及び自耳義との條約を廢棄したるが此條約は來
年八月一日迄有効なるを以て此二國は依然英國と
等しく同日迄は加奈陀との間に互惠的貿易を感み
得べき等なり依て加奈陀政府は其期日迄の間互惠
關稅を許すべき條約圖を擴張し佛蘭西、アルゼ

リヤ、佛領各殖民地、アーセンタイン、壞地利
何利、ボリウイア、コロムビア、丁抹、波斯、露
西亞、瑞典、チニス、ヴェネズ、非ーラ、瑞士
等諸之を許し遂に我邦をも之に加ふるに至りたる
なりと云ふ

●花王石鹼 海軍少將勳章候補生鹿野太郎氏
の試験に係る成績なりとて此報の東京藥報に左の
如く記載ありたり

治療品出納規程中藥用石鹼の年額不足にして常
用灌腸劑の調製に之を用ふること能はず爲め
に各病院共に消耗品に屬する手洗石鹼を使用す
ること殆ど常と爲す故に石鹼は其成分に一定
の標準を設け購買の都度化學的の検査を行ひ可
及的純化の度に過不及なく亦他の雜有物を存在
せざるものを購入するに注意すべし現今本院に
於て供給用となすものは花王石鹼にして左の成
績は自今購買上参考の資に供せんが爲り得たる
分析の結果なり

拾貳錢
九三、五瓦

一一個の重量
一化學的成分(百分中)色

水 分 七壹、七壹六五
無水脂肪酸總量 七壹、〇八六九
結合せる無水脂肪酸 七、〇〇〇九
中性の脂肪 〇、參五六壹
華兒 〇、六貳九九
亞兒加里總量(%) 〇、九壹貳五
脂肪結合せる亞兒加里(%) 〇、八四八五
亞兒加里(%) 〇、貳參八貳
遊離亞兒加里 〇、〇一八參
亞爾個保兒に不溶解分 壹、壹壹壹九
食 鹽 〇、〇五七九

備考
右の成績を合算して百以上に超過するは
水分定置の際個里設林の一部揮散せるに
依る

亞兒保爾に不溶解分は食鹽、炭酸亞兒加
里、色素の一部等にして之を顯微鏡下
に照検するに澱粉を認めず

●正誤 前號御寄贈金附辭記名の中備中國玉島
新町本治平君とせしは備中國淺口郡玉島村橋本
治平君の誤

諸官省御用 ●全國五一會品評會に於て進歩銅牌受領

人印石鹼は光力非常に強く炭
土油煙なし其保つ時間長く故に
經濟上に利益あること往來の體
験に比し殆ど二倍強に當る其原料
は我國の礦質なれば臭氣なく極めて
清淨なるを以て神佛燈火及燈籠等には
尤適し殊に美麗なるを以て御進物等に宜し
西洋形六時間大形時間中形四時間小形三時間
製造發賣元東京馬喰町二丁目 持受合
花王石鹼本舖(電話九二二) 長瀬富郎
市内は十種以上種類並に十種送付見本郵送可仕候
近來郵價あり人印商標長瀬富郎名義に御注意也

諸官省御用 ●全國五一會品評會に於て進歩銅牌受領

人印石鹼は光力非常に強く炭
土油煙なし其保つ時間長く故に
經濟上に利益あること往來の體
験に比し殆ど二倍強に當る其原料
は我國の礦質なれば臭氣なく極めて
清淨なるを以て神佛燈火及燈籠等には
尤適し殊に美麗なるを以て御進物等に宜し
西洋形六時間大形時間中形四時間小形三時間
製造發賣元東京馬喰町二丁目 持受合
花王石鹼本舖(電話九二二) 長瀬富郎
市内は十種以上種類並に十種送付見本郵送可仕候
近來郵價あり人印商標長瀬富郎名義に御注意也

鹿印煉齒磨ハ
良質佳味ニシテ衛生上
最効能アリ使用後精神ノ
爽快ナルハ本品ノ特色ナリ

東京馬喰町二丁目(電話浪花九二二)
花王石鹼本舖 長瀬富郎

商 ライオン齒磨の特効

本品は化學作用により多年實驗して好成績を得た
るに依り一層原料の良質を選擇して精製したるも
のなれば從來世に行はるる普通齒磨と其質を異に
して香氣馥郁として口中の汚物と臭氣を去り齒質
を雪白健全な 世界無比にして且該品を常
らしむると 腐れ齒齦を治し總て口中一切の病を患ふる無き
と疑なし是れ本品の特効なり江湖の諸君織々試
用の上高評あらんと乞

東京市神田區柳原川岸廿二號地
電話浪花四九八番
東京特約店 小林富次郎
横濱市常盤町二丁目
横濱特約販賣 支店 中村商店
東京小間物卸商組

SANITARE DENTIFRICE
LION
TRADE MARK
SUPERIOR QUALITY

價定 子耐器 十入錢五 七入錢七 袋入錢

○實例所は全國到ル所ノ小間物店ニアリ

東京特約店 小林富次郎
横濱市常盤町二丁目
横濱特約販賣 支店 中村商店
東京小間物卸商組

●財政に對する實業界企畫 我政府は戦後の經營として民力に相應せざる過大の財政計畫を定むる條として昨年以來全國の商工業は悉く振振にす特に近來物價の暴騰資金の澱滯は實に言ふべからざるものあり此形勢にして推移せんに有益なる新事業の興らざるは無餘餘往の事業も守成する能はざるの難境に立至る可し故に此際全國商工業者は其挽回の策を講じ忠實なる建言を當局者に呈するは目下の急務なりとの説過日來全國商業會議所各部委員會に於て行はれ會長 澁澤榮一氏も相談會席上豫ての持論たる軍備縮小外資輸入等に就き演説する所あり來月四日より開かるる全國商業會議所聯合大會に此説を提出し全國商工業者の輿論を一定し大に爲す所あらんとす

●物價は大に低落せざるべし 昨今の物價暴騰は通貨膨脹の結果にして通貨へ收縮すれば物價は自然に下落し又戦前以前と同様の價格に至るべしと論ずるものあり成程通貨を收縮すれば物價低落の傾向を現はすべしは勿論のことなるべし大に低落すべしとは信ぜられざるなり其次第は今日の物價は單に通貨膨脹の爲めのみにはあらずして他に銀貨下落に伴ひたる關係あればなり試に明治二十七年七月に於ける銀貨下落の割合と物價騰貴の割合とを比較するに銀は五割八歩を下落したるにも拘はらず物價は僅に二割六歩を騰貴せしに過ぎず(銀貨物價共に明治二十年一月の相場を一〇〇として標準となしたるものなり)是は銀貨の下落頗る急劇にして物價就中日用品の如きは之に伴ひて俄に大暴騰を爲すこと能はず空しく機會の來るを待ちつゝありしものなり然るに其後に至り通貨は漸く膨脹し世間の購買力増進したる爲め物價は益に騰を得て忽ち暴騰するに至り遂に本年五月には銀貨六割五歩の下落に對し物價は六割一步に騰貴し漸く銀貨と漸く近づいたり先月の物價は突飛の暴騰なるを以て之を廢其以前の物價を平均したらんには恐らくは貨幣の法定比價と殆ど違

延なき迄に平衡を得しならんか斯くの如く物價の騰貴は單に通貨膨脹の結果のみならずして銀貨との割合を保つ爲めに騰貴したるものなれば今後通貨を收縮すればとて其收縮の度に隨つて物價が下落する様のことあるを又今日の如き商品高價の時に於ては外國への輸出は決して減少せざるのみならず却て増加の事實あれば今後物價が下落すれば輸出は一入増加すべく輸出好況は物價低落を抑制するに與りて力あるべし故に何れの點より見るも物價が大に下落すべしと思はれず況んや政府の財政計畫にして依然今日の如くなるに於てを云々唱ふるものあり

●郵便貯金の簡便法に就て 郵便貯金の次第に減少する原因は近來貯蓄銀行各地に勃興し互に競争の極度に利率を高くするのみならず其取扱最も簡便なるが爲め之を去りて彼に轉ずるもの多し且つ昨今物價益々騰貴したるが爲め貯蓄金を引出すもの増加し現在の郵便貯金額は昨年當時の高に比すれば三割方減少したるにより政府は貯蓄金切手を發行するの外 一般貯金の預入、引出等が專ら簡便法を取り大に郵便貯金を獎勵する等にて目下其方法を考究中なりと云ふ

●東京大坂間電話工事 東京、名古屋、大坂間の電話工事は豫て本年度中竣功の豫定にて既官一同は致々事業の進捗に盡力しつゝあり既に電線は架設中なるが從來の器械にては遠距離用に堪ざるに付其筋にて改良器械の製造中なるも到底是のみにては豫定期限の間に合はざれば其不足分を外國に仰ぎて豫期の通り竣功の見込みなりと云ふ

●專業農夫 其筋最近の調査に依れば全國各府縣に於ける耕作人戸數は總て五百五十一萬八千四百五十戸此内自作人の戸數は三百二十二萬七千七百七十五戸小作人戸數は二百三十三萬九千七百七十五戸にして地主耕作反別は二百七十九萬五千七百七町歩小作耕作反別は百八十一萬三千四百六十五町歩なりと云ふ

全品 東京 大坂 京都 神戶 名古屋 大阪 神戸 横濱 東京 大坂 京都 神戶 名古屋 大阪 神戸 横濱

白粉 肌石 洗面粉 牙膏 牙刷 梳子 鏡子 手鏡 剃刀 剃鬚刀 剃鬚膏 剃鬚油 剃鬚水 剃鬚粉 剃鬚膏 剃鬚油 剃鬚水 剃鬚粉

東京 大坂 京都 神戶 名古屋 大阪 神戸 横濱

製造元 東京四谷惠比壽屋本店

發賣元 善丸見屋善兵衛

日本橋區橋町四丁目 電話花四四八番

◎千代田形 ◎小櫻形 ◎歌舞伎形 ◎新橋形 ◎名譽形 ◎花の君形 ◎丸見形

入心燈製別

流行鬚形廣告

東市日本橋區堀町二丁目五十五番地

渡邊 茂支店

祖元留妻吾

七店支邊渡

謹 稟

一時今諸物價非常ニ騰貴致シ從而原料工賃總テ直上ケ相成不得止今般組合員協議ヲ以テ從前ノ賣價ヘ一割増相願候事ニ決議相成依テ御領承之上御取引ノ程奉希上候也

明治三十年十一月一日

東京煙管商組合

登錄 商標

新發明 萬能 牙粉

本舖 沙見威堂

抑々婦人の齒を染るは我國古代よりの風俗にして只其器を粧ふのみならず第一口熱を去り齒の根を固め平常用ひ給はば幾萬代も口中の患を免へず故に拙家發賣の(念ふし)は多年品質に心を凝し發明せしものにして染つきの速なるを容易に元事なく其効驗の著しきは實に天下無二の良品にして是れ世間に有りふれたる「よし類」の及ぶ可き品に之れなきは世の傍若無人の教を守り永く皇國の美風を傳はせんとす願ふ所は全國到成の小間物店に取次有之候間際最寄にて採る程奉願候

大販賣
東京小間物卸商各店にあり

登録商標



イリス石鹸
製造元
安永舎
配製所
東京日本橋區横山町二丁目
松澤化粧品部
天野源七

イリス粉石鹼發賣廣告

粉名支分平んハ聯合多年ノ經驗ニ依テ製造セシ化粧洗料ニシテ巴ニ歐米諸文明國ニテ専ラ採用セラレ、ニ至レリ品質ノ善良ト香氣ノ佳快ナル他製品ノ及ブ所ニアラズ加フルニ藥品配合ノ宜キヲ以テ常用トセバ最も皮膚ノ醜麗ヲ保全ス又容器ハ輕便ナルガ故ニ旅行攜帶ニ尤モ適ス
意匠登録出願中

皮膚專門大醫實驗証明



海軍御用品

定價 壹拾貳錢三個人參拾五錢

內務省衛生試驗所
御試驗済ノ成蹟書アリ

本舖 大野金城堂

グリスリンチリ
百猫石鹼

現今化粧石鹼として販賣するもの其種類頗る多シト雖も恐クハ此百猫石鹼に優るものは無かるべし見よ諸君此百猫石鹼が如何に純良善美なるかを見よ抑も此石鹼たる某博士及斯道専門の學士等に就て秘法を受け之に弊店の經驗上の發明品を配合し且つ熟練の職工をして之を製せしめたるが故に其衛生的化粧品として有功無比なるは即ち諸名醫諸大家の証言に據て明瞭なり其くは全國同業者諸君彼の粗製濫造の喃着品と同一視せず揮て販路の御擴張を賜らん事を猶需用者に対するの說明ハ載せて本能書に詳なり

新發賣玉おしろい廣告

此の玉おしろい(雲井の義)はへちまの水にてよく晒し玉に製したる白粉化粧料の藥品と龍腦麝香の芳しき香を加へた故に、汚顏の皮膚を清く艶を出し、にきび、あせも、はたけ、そばかす其他汚顏一切によるしく腫物を防ぎし等實に類なき珍重なるおしろいなり

用法は常におしろいの如く水にてとぎて使役用相成し得ば麗しく相付なり

調製所 東京墨堤三丁目
電話本局五百三十四番
松澤八右衛門
賣捌は諸々小間物店賣店にあり

登録商標
錢六金 價定

純良精製 花の御

大箱 包入 一〇個 化粧粉製
中箱 包入 一〇個 化粧粉製
小箱 包入 一〇個 化粧粉製

紙改同改小大
正紙 包入 一〇個 化粧粉製
同紙 包入 一〇個 化粧粉製
同紙 包入 一〇個 化粧粉製

小大別 瓶瓶瓶 器
瓶瓶瓶 器
瓶瓶瓶 器

入入入 〇〇〇
入入入 〇〇〇
入入入 〇〇〇

一箱 五十五
一箱 五十五
一箱 五十五

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

個個個 個個個
個個個 個個個
個個個 個個個

〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇
〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

金金金 金金金
金金金 金金金
金金金 金金金

四六二 四六二 四六二
四六二 四六二 四六二
四六二 四六二 四六二

十 十 十
十 十 十
十 十 十

錢錢錢 錢錢錢
錢錢錢 錢錢錢
錢錢錢 錢錢錢

善 小間物問屋
丸見屋善兵衛
日本橋區横山町四丁目
電話花四四八番



最良 石鹼 發賣本舖

鷹卵 商標

東京市馬喰町二丁目
東京市横山町一丁目
東京市通油町
東京市横山町二丁目
大坂市南久寶寺町三丁目

淺野井 天村福 三
支源藤 井野田 見
店七七 助七 店

本品ハ發賣の卵トハキミツト以テ被稱
ヤ天下ト云二一原ノ一トテテテテテ
のテテテテテテテテテテテテテテ
使用ノテテテテテテテテテテテテ

秋の花妻 (第七回)

小武入道が居城を捕へし内山の山嶽一里ばかり奥の方に神さびたる神社あり山岡明神と頼打つて棟の千木もかうくしき造なるが境内廣くして景色麗はしく池は社殿を圍らして水青く澄み橋は大石を横たへて音滑らかに蒸し感應掲揚なる靈場と見えしに況して春は花夏は涼み秋は紅葉と四ツの時の風色面白ければ話上るもの少なからず皆一日を此處に暮して幸路に歸るを常とせり時しも秋の末つ方小武が老臣野籠豐前守の愛娘千種姫母御前の病氣平癒に依り其體參りとして此神社に參詣あり其身は箱野、堀、村雨、萬葉などいへる數名の腰元に圍まれて神の御前に玉串を供へ參拜終つて境内なる茶亭の一間に休息すれば附添の武士猪俣大伴、村越甚之丞の兩人は楯のほとりに進み寄り去今日は折柄の詠らへ日和此社の裏わたりは大分紅葉を致して居りますからちと那の邊へか越しあつて御覽遊はしては如何ぞ御坐ります。昔節面白松の根に馬の少し染めましたもの一層哀れで御坐りますと右左りから鞠むればはは完爾と打笑みて手成程夫も興であらう、が併し委ハ此等から興物で山坂道を登つたせいか何うやら草風を覺えたさうなモウお役目も済んだれば皆の者へ遠慮なふ緩りと遊んで来るがよいコレ箱野其方と村雨は年寄なれば遊び度いとも思ふまいと櫻と高菜と其他の者は今の年頃が面白盛り何など好に遊ぶがよいと云はれて樹はこゝ着、馬夫なら宜しむ御坐りますかソレお姫様からお許しが申せした葛葉さん何ぞ致して遊びませうな、此語に葛葉も膝押進め、左様何を致しませうな、オ、ソレ能い事が御坐ります此廣前の廣いのを幸はひ大作様甚之丞様其外皆さんと御一緒にゆかない千鳥の遊びをしてお姫様の御覽に入れませう、馬、夫りや能い所へ氣が付きました日頃お錠口の外の

に居て意地悪はつかりなる大作様殿を打つは斯んな時勢さんと一緒にたつて散々いぢめてやります、其の赤様も同じ事随分辛うりられぬ様御用心をなさいまし、大、イヤ是は迷道千萬甚之丞殿如何致さう、甚、拙者も甚はだ當致致す極殿の其大きな手を握りられたら何處へ駆けぬける事も出来ませぬ、馬、アレそんな事を其口捻らねば腹が癒ぬと二人の者を追駈くるに一同どつと笑ひとなり夫より後



は追ひつ追はれつ或は木の根に踏づくもあり或は崖道を轉けるもあり姫も殊の外興を催はし向も景色なき詠め居りしに彼方の丘の陰に當りて大が黒しり聲、去此奴以ての外性しからぬ奴何しに身共に突當つたイヤ何しに此邊を徘徊て居る斯う見た所頃はまた廿歳の青二歳獨り旅をす人休ども見えぬに皆の小笠に草鞋脚半で城の様

子を窺ひ居るは何う考へても怪しき曲者若しや菊池の廻し者かもし知れぬ甚之丞殿如何致さう、馬、兎も角も合點の行かね奴殿令社参の序どいへ我等の眼に止つた上は見のがしにしては相違ない此徳姫君千種殿の方へ率て行き主人豊前守様御名代としてお差圖を願ひ申さう、去左らば左様致さうと率連れ来る人休を見れば色白くして眼涼しく身丈高き若者なり若者は當致顔「イヤ決して迂闊な

者では御坐りませぬ私には二方の御覽の通り氏も素性もなき殿し生れ内山の城下まで用事あつて此處へ差掛り那處の崖から向ふの方か城の様なものが見えます遠り餘り景色が宜しい故浮々見惚れて居りまして貴方の居るのに氣が付かずイヤ突當りまして御坐ります何卒平に御勘弁を、去イヤならぬ其城の方を見惚れるが氣に喰はぬ當時戦國の

●非銀行税制定意見書 竊に東京市参事會より市會に提出せし特別市賦課規則案に一般の諸會社にも課税するの一項ありしが市會の調査委員會の手に移りて後委員會は一般會社に課税する煩なるに比し銀行税の徴收簡易にして而かも收入巨額なればとて銀行税のみ課税するに修正したるより府下に營業場を有する各銀行本支店の人々は去十日夜坂本町の銀行集會所に集會して銀行税に對する協議を爲したる未滿場一致を以て非銀行税制定意見書を府知事始め市参事會、市會議長、議員に送り且つ東京商業會館所に向つて交渉する事に決せり意見書の要點は左の如し

一、一個人にして營業を爲すものは課税を免れ會社組織を以てする銀行のみ特別市税を負担せざるを得ずと云ふに至つては最も背理の甚だしきものに非らずや銀行に課税する方法簡易にして收入多額なりと云ふに於ては之を特別市税と稱せんより一種の義捐金を銀行に命令すると言ふも可なり

二、銀行營業場を市内に置くの故を以て其利益金額に課税せんとするは不當なり本店を市内に有する者は地方に多數支店を有し從つて其利益を地方より吸收せしもの少なからず然るに利益金額に課税するにせれば地方に於て得たる利益金額に課税するの結果に陥るなり

三、商工業の發達國家の進歩を裨益すべき重要な經濟機關に課税するは國運の大勢に反する不當の措置なり

●増税反對者の所説 増税非増税は目下の一間
題なるが今日の勢軍備の縮小は行ふ可からざるの
論にして軍備の大縮小は行はざる限りは増税を充た
んがため増税は止むを得ざる事情と聞き可しにして
今日の増税なるものは地租と酒税とに限らずして
政費の不足を補ふのみならず兵力に相應する程度
迄は戦後人心が著修に赴きつゝある傾向を抑制す
るに足り随つて奢侈に屬する購買力を減殺し昨年
以來持續したる輸入超過の如き次第に之を緩和す
る事を得べし且之に加ふるに資本家以外に散布せ
られたる通貨を回収して資本家の融通を助くる等
其妙用決して妨からざるべし政府當局者も雖も風
に明知する所其之を断する能はざるものには政治上
斷する能はざる事由存するものあればなり民間實
業者は素より衆議院議員中少しく時務に通するの
士は疾く其必要を認識し居るも彼の議員等は明年
の總選挙を目前に控へ選區區民の負擔を重からし
むる増税説に左袒するは性質なる彼等の爲すを憚
る所なり然らば實業者等多數の意向如何以上の次
第なるを以て此際進んでなりとも政府に増税を懇
進せんと欲する者あれば如何にせん松方内閣の
成立以來當初の宣言即ち財政の整理其他政務事ら
ざる者あるのみならず益々生産的の事業に政費を
投じ民業に有害なる保護金を與ふる等の如き政策
を持續する限りは如何に増税の止を得ざるもの
なり人民亦存すれば如何に増税に反對せざるべか
らずと其業者は語れり

●職工條例に就て(志村工務局長の談話) 志村工務局
長は曰ふ今制定せんとする職工條例に關し紡績
業者の中には今制定せんとする條例を目して同
業の爲めに設けらるるものならんとの推測を下し
居るが如くなればも決して然らず農商務省の調査
に據れば今制定の下の立たしめんとする工場は
一千個以上にして諸種の事業を包含せり紡績業者
の夜業は衛生上阻止せざる可らずと雖も目下急に
之を阻止せんとするよりは非常なる恐慌を來すの恐
れなきにあらざれば當分の内之を存し又労働時間
も成るべく長くすべし信用即助の製絲家の労働
十六時間の如きは固より之を制止する考なり年齢
の制限も定むべき考なれども然らず守業者に對して十
歳内外の幼者を使用すべからざる處命せば工業者
よりも寧ろ貧民の生計を害するの恐れあるを以て
織造業者に限り條例以外に立たしめんとすべし
なり又十五歳未満幼者の労働は十時間に制限すべ
しと云ふ事も未定の問題なり尤も職工の請け争奪
等は工業者の失業影なきのみならず風俗を紊す
と太甚しきを以て充分取締るべし衛生教育、風紀
等は監督掛を設けて嚴重に取締るべき考なれども
監督官其人を得ざるに於ては何等の効能なきを以て
充分人選すべき計なり之を地方の警察官に委任
する杯は未だ胸中に浮びだもせざる所なりと云々
●巴里博覽會の二大計畫 來一千九百年佛國巴
里萬國博覽會を開設するに就いては佛國人は
各國來觀人の目を惹かさん計畫を爲さんとす種々
の新案に注意を凝し居る中に規模最大にして最
も新奇なるものはアンマンゴ氏の設計せる「動く
プラットホーム」(遊覽臺)と稱するものなるべし
此臺は長さ四百米二百米突にして地面より高さ十
五米突の場所に設け來觀者梯を攀ち其上に登
れば俄かに臺の動揺するを感ずるのみなるも漸々
動揺の速度加はりて一秒間に二米突七十センチメ
ートル即ち一時間約九十四五丁を駛り而も危
険の要なくして來觀者以上は佇立したるまゝ足
を寄せずして博覽會全體を縦覽し得べし仕組なり
と此臺に一度に五萬一千七百三十二人を容るべ
しを得べく一回の廻轉費一人分五十 參を受る予定
なりと、又他の一大設計は非常に大なる風船にし
て其直径三十三米突あり一度に六十人を容れて六
百米突の高所に飛揚せしめ空中遙に巴里全市及其
附近の光景を眺望せしむる仕組にて之を設計した
るはヘンソンといへる人にて風船を運るの費用
莫大なるべし風船は一時間三回飛揚し一人毎
に五法を受る予定なれば一時間の収入九百法に達
すべく而して同博覽會の來觀者約九千萬人との
環定なれば設計者の收益も莫大なるべしと云り

新製粉狀大博士稟告

●衛生 大博士

煉製 衛生 大博士 標商登

右特約販賣店に續々御用向之程偏に奉希上候

大博士	大博士	大博士	大博士	大博士	大博士	大博士	大博士	大博士	大博士
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

定價

煉製 衛生 大博士

三月用 金拾五圓
一ヶ月用 金拾圓
半月用 金七圓
分狀 金五圓

廣告

創設廿五年紀念博覽會受領

有功賞銅牌

本甲臺時繪彫刻捕物櫛笄
惣張臺黑唐代生地繪金地
高評漣彫物櫛笄簪中差
推朱彫物櫛笄簪兩天一貫
新形朱推朱政子・政子鬢
各種・柳鬢糸政子形銀形
上等玉入簪向差長房付簪

丸見屋善兵衛
東京市日本橋區橋町四丁目
電話花四四四十八番

●清國重慶輸入本邦雜貨景況 清國重慶に於ける本邦雜貨の景況に付ては、同地帝國領事館職員橋太郎氏より其筋への報告は左の如し
本邦産雜貨にして當地に輸入せらるるものは左の諸品とす

●手巾 石鹼 齒磨 洋燈
●香水 磁器 寒酸計 玩具品
●洋傘 重に大坂、神戸地方の製品にして上海より支那人の手を懸て輸入せられ多くは毛細子張の中等乃至下等品のみを限り一紙需要は概言すれば追々増加の傾向あり中等以下の需要にして反て特に村落人民の間に需要あるもの、如し世の知る如く支那人は中等以上の人士に在りては外出に際し多く襪子に座し徒歩する者は極て少く、何の地方を問はず域内は市街狹隘にして且つ夏日の如きは日覆の設あれ人多く日傘を携ふるの必要なく僅に雨天の際雨傘の用を爲すに過ぎず之に反して田舎人に在りては日傘或は雨傘用として必要を促すもの、如し當地に在るものは殆ど悉く本邦品のみにして他の外國品は固より支那産品も見當らず價格は一本銀七百文以上二千文内外のもの多し

●鈕 眞鍮製にて鍍金せしもの五箇を以て一組と爲す本邦に於ける製造元は詳ならず然れども大坂神戸地方の産出なるべく當地にては小形品買行宜しきか如し小買一組の代價六十文乃至百文とす

●手巾 ハンカチーフ及タオルの兩様あり特に小形のタオル最も買行宜し支那人は食中及食後等に熱巾を以て面部を拭ふの習慣ありて此小形タオルは能く其等の目的に適するが如く小買相形は一枚四十文乃至七十文とす

●石鹼 化粧品多くして殆ど洗濯用品を見ず多く大坂、神戸地方の製品とす三箇入一箱にて八十文乃至二百文内外のもの最も買行宜し蓋し石鹼使用の風習は未だ甚だ狭くして僅に一部の需要に應ずるに過ぎざれども漸次増加の傾向あるは疑ふべからず洗濯用として支那人は衣服の洗濯は比較的に數々之を爲せども石鹼使用の風は當地の如きは未だ殆ど之を見ず多く皂と稱する樹實を用ふ蓋し是れ一は石鹼の價貴と一は其使用に慣れざるに因るべし故に若し適當の方當を以て其効能を知らしむるに於ては洗濯用品も亦當を置くに足るべし

●齒磨 内地に於ては名も知れざる如き劣等品のみにして大坂、神戸地方の製品に堪るもの多く袋入或は箱入りよりは瓶詰のもの嗜好に適す

●洋燈 當地には相應に繁盛なる硝子製造所三箇所ありて窓戸硝子、洋燈及燭等を製作す故に通

常用の粗品は製土地の供給にて足れるも少しく上等なるものは輸出する能はず其需用に應ずるため本邦品の輸入せられ且より巨額なる能はず神戶製の「マーチン」等往々散見せり内地にて一圓内外と思はるるもの二千文の代價なり

●靴下 支那の靴代用のため莫大小靴下の輸入あり且も未だ十分なる販路を得ざるが如し莫大小靴下の靴下は襪子に比して大に廉なれども耐久の點に至りて大に劣り且つ慣習上外靴の點に於て反て従来の襪子を好むもの、如し色地は白のみにして他の色附のもの殆ど嗜好に適合せず小買一足六七十分文のもの多し

●香水 本品は甚だ少額の輸入にて殆ど云ふに足らず洋貨舖陳列しあるを見るも僅に一部の需要あるに過ぎず此他水白粉の如きも同じく陳列しあれども是亦小買買にして小町水の如き往々散見する所の一なり

●磁器 粗造なる茶碗多く概ね長崎等より來るものなるべし蓋し當地に於ける磁器の供給は悉く九江及其附近より來るものにして、西部支那一帶磁器の産地なき故に磁器は甚だ高價にして殆ど本邦の三四倍なり内地に入るに從ひ益々貴く雲南府等に於ては更に高價のみならず本邦品の日用品に用ひらるるに過ぎず茶碗一箇四十文乃至七十文内外とす本邦に於て一錢乃至三錢内外のものなれば且し販路は未だ大ならず

●寒酸計 少々、需要あり重に室内の裝飾たるものに嗜好あるが如し

●玩具品 葉製の小兒玩具品は往々洋貨舖に於て散見せり重に本邦にて流行後等のもの轉々輸入せらるるべく新奇にして人の好奇心に投ずるものは存外の高價なり

以上列記の諸品は概ね上海より直輸入するものなれば且も往々漢口より轉買するものもあり又前記相場中銀千文は現時の相場にて我一圓三十錢内外に相當せり

(注意) 本邦雜貨は逐年輸出増加の盛況ありと雖も尙ほ將來の希望を述るときは未だ遺憾の點少しとせざるなり今日日本邦より諸雜貨輸出の景況を察するに大坂、神戸等の地に在留する支那人の既成品中も特に支那向の物品を見立して輸入する、或は特別に注文製造して輸入するものにして撰採取捨の權は殆ど在留支那人の思考にて決するもの、如し是を以て内地製造者の製品に對する嗜好需要の廣狹等を察知するの途は僅に在留支那人の意向にて揣摩するに過ぎず然るに當國の如き北部、南部、西部、等の地方に從ひ氣候習慣の如きも一様なる能はざれば自ら物品に對する嗜好の點等も多少の差別あり

きかみはりね橋三



TOOKYO WASHI TOOTH PASTE

目下三町山嶺京東
舖本散光白
郎次喜鬼橋三

きかみはりね橋三

買捌ハ全國到處にあり

んげつせつげと



陸軍御用品

●蜂蜜品質保証は無責任也
●煉製主任 加安永
●煉製技師 加藤千代吉
●煉製技師 加藤千代吉

東京市油町 陸軍御用達清水開花堂
●買捌所は全國到所の小間物店及賣藥店にあり

錢五十金個一價定

醫學士稻生梯先生新方

●製糸家用 絹練石鹼
●定價 一個十錢郵稅二錢
●一個十五錢郵稅同

●製糸家用 絹練石鹼
●定價 一個十錢郵稅二錢
●一個十五錢郵稅同

●製糸家用 絹練石鹼
●定價 一個十錢郵稅二錢
●一個十五錢郵稅同

●製糸家用 絹練石鹼
●定價 一個十錢郵稅二錢
●一個十五錢郵稅同

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

●改良蠟引紙壽賀本舖
●發賣元東京橋町四丁目
●善丸見屋善兵衛

轟に界世く普名芳

人造麝香
 類あまの純良品にて高尙優美
 方今普く天下に高評を博したり

此人造麝香は佛國製造元より
 特約輸入し他に比り
 固なり郵券代用此人造麝香を
 増但運送料を要せず香と用ゆ
 日本橋區伊勢町七丁目東洋堂
 東京市日本橋區伊勢町七丁目東洋堂



關西特約大販賣
 土州高知播磨屋町
 石岐開盟
 山田篤三謹製
 井上作次郎

此人造麝香は瓶入り詰め
 携帶保存等最も便利
 固なり郵券代用此人造麝香を
 増但運送料を要せず香と用ゆ
 日本橋區伊勢町七丁目東洋堂
 東京市日本橋區伊勢町七丁目東洋堂



初雪
 定價 大 五錢 小 二錢

牡丹香
 牡丹香の功能は能香に委敷しるす

八輪繪又番八十枚録歌

發賣元 東洋堂
 佐々木玄兵衛

親玉
 牡丹
 定價 一貝 二錢 特製 五錢

明証驗實醫大各



二王后鯨
 製造元 東京牛込 揚場町 安永舍

一 二王石鹼は多量のリスリンを配合し
 あるが故に寒さの時節には二王石鹼を使用す
 るに限る



雪の梅廣告
 全國各御得意様益々御繁榮奉南山侯隨而弊堂發賣に係る雪の梅の機
 一方ならざる御引立を以て日に月に販銷の増加致候は偏に御愛顧の
 厚き又品質純良にして香氣濃郁價格低廉の致す處と深く奉感願候
 就ては此際猶一層業務を擴張し原料を吟味し
 層品質を精良にし且つ目下諸品共非常に騰貴候 層るに
 もかゝらず大發賣を以て御買價格直上げ不仕 従前の最
 低價を以て御注文に應じ候間何卒舊倍の御用被仰付候様伏して
 奉希上候謹言

製造本舖 東京牛込 揚場町 石黒尙天堂
 發賣本舖 東京橋區 南小田原町 丸見屋善兵衛
 電話浪花四四八

美人社會 高評博し化粧品大王
 西洋各國にて大流行の實に奇妙なる「無毒せる鮮
 華化粧」別號「白」一名「透明水白粉」
 原品直輸入元
 獨し「メジロ」會社

白散本舖 東京市日本橋區橫山町三丁目一番地
 三橋兔喜次郎製

定價 大瓶二十錢 中瓶十四錢 小瓶七錢
 別製 五十錢 三十錢

此別號おしろい「白」目見れば只の清水の如く不
 れども不思議にいろを白くする事雪の如く玉の如
 し行水湯あがりかみを用ひすして其端ですぐで
 用ふるも決してむらにならず○あせり○ふきで
 物は立所にさがるがゆゑにこれを用ひ玉は一人一
 倍の光彩を放つ

化粧品小間物齒磨間屋
 東京市日本橋區橫山町三丁目一番地
 白散本舖 三橋兔喜次郎製

特約代理店
 東京市日本橋區橫山町一丁目 天野源七
 同馬喰町四丁目 平尾賢平
 同通町三丁目 丸見屋善兵衛
 同馬喰町三丁目 山田篤三
 同神田區區濱町 武井龍三
 全國至る所の小間物店及大藥店と販賣所あり

●全國商業會議所臨時聯合會

商業會議所七部委員會の結果来る十二月四日臨時商業會議所聯合會を東京に開設し營業税法に對する意見案に就き審議することに決したれば此程全國各商業會議所へ左の如く通知せりと云ふ

一 臨時聯合會は十二月四日より東京市京橋區木挽町十一丁目十一番地東京商業會議所に於て開設する事

一 十二月三日午後三時東京市芝區公園紅葉館に於て來會員の懇親會を開く事

一 來會員の氏名は決定次第可成速に東京商業會議所へ通知する事

一 來會員到着の上へ直ちに其宿所及氏名を東京商業會議所に通知する事

一 會員及事務員中に別に説明員を定め出席せしむる規則第十三條に依り面より差支なきも尚他の會員にして意見あるときは有志會員として出席し其意見を述べざるを得る事

一 議案は開會の上協議決定する事

右及御通知候也

明治三十年十一月九日

●職工募集規程

近時種々の詐術を以て職工を募集し其極端に等しき迄に及びし各地同様の狀況なるが福井縣知事は縣會を以て他府縣に於て使役する職工其他の勞務者を本縣下に募集せんとする者は左の事項を具して知事の認可を受くべき旨を發布せり

一 募集の目的及其方法

二 應募者と契約すべき條件

三 募集者及び之に従事する者の住所氏名

四 募集すべき職工勞務者の人員(男女の區別を要す)及び年齢

●佛國大統領の演說

佛國大統領ポール氏が一國の運命を双肩に荷ふて遠く遠くに遊び首尾能く佛國同盟條約を訂結して以て佛國を泰山の安に置きたる功勞の紀念として佛國の實業團體は十月十四日の夜を以て商業取引所に氏を招待せり此懇親會は七百五十人の商業家及び製造人より成り巴里に在る内閣員も亦懇親招待に應じたり同夜八時に至り大統領は僑兵に圍まれて該場に到着するやマンセーの國

歌は高く響かれ隨處の人々は拍手の中に氏を迎へ頼てゴイ氏は大統領を祝して大統領の無事に國より歸られ再び之に咫尺するを得たるの喜を述べ今同の如き懇親會は歴史上に其比なきを説き商業及び生産家は千八百七十年の禍難以來共和國に信用を置き而して共和國も亦其信用に辜負せざりしを演説し是に於て大統領は其答辭として演説して曰く

余が今日實業家諸君の招待に與かりたるは余の欣喜に堪へざる所なり余をして諸君に語らしめよ露國皇帝と佛國大統領の間に友誼の言葉を交換したるの結果として全國民は非常に満足せりと巴里府民の宣告したる時余は感激の至りに堪へざり共和政府が此の如き効果を收むるに至りたる所以は職とし其人民の明識と政治的精神に歸せざるを得ず此共和制たるや内に於ては平和を保證し外に於ては其意見の繼續を確するも之を外にしては一物も強固なる能はざるなり數年前に至る迄歐洲諸國が手を觸るゝと能はざりし邦國は今や探險の爲に一時に門戸を開きたるを以て此諸國は其富を殖増せんが爲に運河鐵道等の設計に怠るとなし故に佛國も亦此新市場に突入して商業を外都に試み以て其利益を收めざるべからず又外邦の競争者に先せらるゝとなく正當に得べき佛國の位置を排斥するも急に此に従事せざる可からず然れども此事たる個人の企業に委すべしと思考するものあらば是空想の基しきものなり佛國は外國に在る佛民に其要する扶助を與ふべし佛民の住する所は則ち佛國の存する所なり第十九世紀を莊飾し學術産業を盛にし以て第廿世紀の運命の基礎を置く所の大進歩は必ず有力なる財源の供給を供給するなるべし而して之に對し吾國民は人類の繁榮と幸福の爲に力を盡すを辭せざる所なり總ての國民は此進歩、進歩及び平和の大盛事に當りて各々其享くべき位置を要求せり佛國も亦古昔の佛國に負かざる手段を以て諸君が此同伴に入らる可きを信ず進めり諸君佛國の光榮と盛大の爲に進んで第一位を占めり

小店儀今回肩書ノ所
エ移轉業務擴張勉強
仕候間舊ニ倍シ御愛
顧ノ程奉懇願候

白田馬造 謹言

二仲店員井上富三儀
今回現役入營ノ爲メ
退店致シ候間此段及
廣告候也

生儀今回現役入營ノ
爲メ歸郷可仕候白田
商店在勤中ハ特別ノ
御愛顧ニ預リ深ク奉
拜謝候除隊上京ノ節
ハ舊ニ倍シ御引立ノ
程奉懇願候

井上富三 拜伏

賣捌全國各地至る所に
赤十字 石
地番七〇百町任永區平茂京東
舖本造製驗石字十赤
舎興整村井

麴の香ねおら
新の巻
日本橋區馬喰町四丁目一番地
製造元 東京莊園堂

リマ気空
イハロイカ
魁の強勉大利薄
地番四目丁三町本橋區田神
藏源屋萬

近代世事談 (抄録) 菊岡沾涼

能

東山殿の時、謂も同じくはじまる、觀世阿彌始めてこれをなせり、此觀世は桑川勝の末流にして、俳優なれば、渠に命じて此技をなせしむ、能は神樂をやはらげたものなれば、すしりのため、神事の執行ひ、これを神事能と云ふ、神事を奉るに、大社に屬す、太神宮には和屋、勝田、主向の三座、伊勢にあり、日吉には、山階下坂、比叡の三座、近江にあり、賀茂住吉には、本座(丹波)新座(河内)法成寺(攝津)是三座、春日には、外山(養生)結崎(觀世)坂戸(金剛)間瀧井(今春)此春日の四座は就中名譽を得たり、よつて東山殿へもたび、ゆされしとなり、今春は桑氏安二十九世なり、山州竹田に住居す、因て武田と云ふ、養生は伊賀國服部の産なり、故に服部と稱す、

参樂率頭 (承前) 作者不詳

横平

大じん之處へ、出入の者年始に行き坐敷に通じ、はるか末坐に平伏し、けつかうな若で侍坐ります、大じん罷をなでながら、ゑいかげんの春だ

旅人

二人づれて山路へ掛りしに、狼、觀子にて山のたにきに居るを見付、こんな時は氣をのまれてはわるい、強し事を云ふが宜い、一人、金時の未業だといふ、今一人は仁田四郎が未のし、なせにちとでつくわけて見たいなせ、話し行く、狼いふやう、とツさんわれも銀砲だの

子の年

士供一人ゆしつれ、途中に死なる鼠あり、「角内この鼠を持て参れ」「エあれは死でふります」「そりや知れた事さ、身でもは子の年じやから見のがしにはならぬ」「エ且那午のお年でなくつて我等仕合せ

掛硯

息子かけ硯の金、二分つかひける、親父息子をよびつけ、おのれ分ぬすみあつたな、是れよく聞け、後には皆われに眼を、息子まじむな顔にて「おづるとき二分ひけばよ」

坐頭

坐頭天の尾へふみ掛ければ、ワンと鳴く、かつと杖の方へ、あいと云ひながら又犬のつらへ踏かけワンと云ふ、傍から此坊さんはかんだら「なに犬が長」

直増願廣告

益御座榮奉大賀候御者毎々御引立御座難有仕合奉存候御座近來諸物價非常之騰貴一從ヒ下店製香香水等大形響相及ガ候得共精々勉強仕是迄定價置候處先月來ヨリ御子業及外二組共一割以上ノ直増實施相成如何日ヨリ價格改正實行仕候間何卒前記ノ理由御察察被下御開濟備ニ奉願上候且下後候ハ、早速御價ニ相復申上候間何卒倍倍御引立奉願願候請言

明治卅年十一月十五日
篠崎香水油製造所
東京御賣御店中様
全國花客御店中様



今般弊店ニ於テ印かも勉強致ス廣告仕候所當之候故ハ申スニ及諸御小問物店ヨリ諸御注文有リ勉強御注文ニ不懸下上居リ候所全ク外御品先今迄ハ御注文引見候ハ見込無之候種々心配致シ今回製造場ヲ數ク其ノ職工モ大ニ増加致候ニ付何れモ御注文ニ差支無之候間何卒多少ニ不所本今一應モ御注文ニ奉願上候也

小問物問屋 村田藤七
かもし元毛賣買仕候

各種形 問屋(善) 長倉烏次郎
古來我邦の習慣として世の交際には概して男子にのみ放し女子は決して之に與らざるを常とせしり、今や社會の進歩と人智の發達とに伴ひ女子も亦交際場裏に多忙なるのみならず併せて衛生の道にまで注意を及すに至りては日用の化粧品も亦大に舊來の面目を革めざるべからず是に於て弊店他に率先して歐米流行の製法に倣ひ或は西洋折衷の便法を採り化粧品にして又衛生に有功なるを以て之を所なりとす而して此に熟知せしむつ精を盡し美玉白粉の如き就中弊店が丹精を凝し工夫を凝らしたる製品にして其有功無害天下に比類なきは悉く夫人行方より御用を仰せられ且貴客様方より御愛用を賜へるを以ても推知せらるべきなり依て弊店に此名譽を推し厚意に酬ひ奉らんが爲め益々原料の精純を撰み益々製造に注意して以て純上又二層の花を添へんと欲す致へ全賜らん事



美玉白粉
定價大瓶金拾三錢 中瓶金六錢 小瓶金五錢
香入

代理店約
東京日本橋區橫山町一丁目 同馬場町三丁目 同馬場町四丁目 同通町一丁目
山九平天 田見尾野 萬善發源 三南平七
●同馬場町三丁目 小問物問屋 三橋克喜次郎
●其他全日本各所 小問物店及各名店三



狂歌

西洋學士

よきを探り悪きは捨よ何事も
まねるはよしに西洋學士
魁にあたまはさみし人ならむ
深くも學ぶ學文字の書

文月のその一夜は星學士
みて見ゆふりの梓や通さむ
金ぶらの目鏡のみかは洋學士
わが胸前を鼻に掛けり

隨軒のよき仕草をも拾ひつゝ
國益はかる經濟學士
古郷へかざる鶴はこゝ國に
業をどけたる植物學士

學文字のふみを修めし學士には
外國人もあはれをよきけり
學士てふ號を得顔に洋服の
かたも廣く歸朝せし人

こと人の雜居近きに學文字の
かにかく學ぶ人のよき受け
外國の文にあかるく成てより
學士てふ名も輝きにけり

學文字を廣く學びし功しやせむ
北里の流れを汲みて濁りたる
血をも清むるくすし賢とし

天地と共にさかゆる君か代を
都も都も祝ふ今日かな
軒の鐘になびく御旗は民草の
君をことほく色を見えける

此頃病癒の保養かたし染井あたりに杖を
曳きしに生憎すし風立たれ休暇日の事
とて殊の外に賑はひけるより久々にて面白
味もまた一入に覺へ夕陽の西山に響くをも
忘れ夜に入りて歸宅の後庭に花をどり

あめの上の舞
秋の日に日裏里真近く。染井へ浮れこむ千樹園

- 桃の屋
- 露交
- 彌生庵
- 繪馬屋
- 和洲
- 素朴
- 長夜園
- 道成
- 不二の屋
- 月好
- 都柳軒
- 秋の屋
- 天長節
- 田中豊真

庭内に植込み八百種。大菊小菊は見事に咲き
蘭の、ランヤ、接コールのマンタルツボン、黒帽
子に鼻先眼鏡かけ。奥には大鏡が、壁をひねり
て真面目顔。中にもモンチヨロ鏡の小鏡連中
が、菊をながめて、妙々ステキタ、いて、貴
公来、キンコライ、でもらひし番附かへ
て、胸車に飛乗り歸宅する

口上茶番人物鏡

其十 船頭

私は船頭と云ふお題を戴きまして、誠に有りが
たう存じます。併し私は一体船は大船にせよか
ら、船頭の事は一向に存じませぬ。夫ゆゑ船頭を
つれて参りました(と、煤物に團入の娘奴と露奴の
人形を出し)扱これが船頭でござります。と申あ
げると皆、お、夫は船頭ではない、花魁の人形
だ、と仰せもござりませうが、尤も金次第……(風
水第一)の者でござります。それで毎年皆様の御大勢
で参りますから、別にお手間(傳形)は取らせ
ません、チヨキと申あげて御免を蒙ります。處で
此の花魁は何處のだと尋ねも参りませうが、
船頭の事ですから品川橋のお職(押送)もござり
ませう。夫でお職と云はれる位も、中々
人を釣船も上手でござります。併し釣られたお客
の家はさぞ間(網)舟でも御参りませう、又中に
花魁にふられたお客はモウ早く歸る(糞橋)と
申す(と、露奴の人形を見せ)又こちらの露奴
は、三味線を弾て聲を出してござり居ります。
甚だ尾籠な事ですがさうじ船でもござりませう。
又このやうに並べますと、船頭の顔がよく似て居
りますからにたり舟でも参りませう、ソコで船
頭と申お題へ露奴を遊覧に入れまするは如何で
すか、これも浮た商賣でござりますから船頭に結
もありません。と漸々これでお茶番もコナツケ
(潜附)てまいりましたが、肝心な露が出来ませ
ん、イヤ船頭の事で参りますから、おはし御免
を蒙ります。(未完)

品質善 良價格 低廉ニ シテ正 眞ノ麝 香ノ香 氣アル ハ猫印 商標麝 香石鹼 ナリ

標商印猫 麝石香 入香麝眞正

東京横山町二丁目 田中花王堂廣告

定價 一號 二十五錢 二號 二十錢 三號 十五錢 四號 十錢 五號 七錢 六號 五錢 七十四號 十五錢

此鳥石鹼

打付極上 小町紅猪口類 光色不變

大勉強 製造 東京市日本橋區 本町四丁目十七番地 大石清香堂

各店陳列注文御用有之、御報知次第、價表御送致申上候
何卒御用向希願儀

懷中 白ん保

妙更輕便東京馬場町三丁目小町水本庄平尾新造

夫工新

大瓶 四十五錢 中瓶 三十錢 小瓶 二十錢

告謹ニ君諸者業同國全

特許出願中

尾崎又三郎
川瀬三四郎

人造珊瑚日本珠發賣廣告

時下向寒之候ニ御座候處各位益々御降盛奉大賀候備テ弊堂義從來專賣
 特許日本清酒用藥劑ヲ以テ普ク醸造家諸君ノ高評ヲ博シ續テ化粧用垢
 落シ「やまとはだ」及ヒ煉洗粉製造發賣仕候處是亦各位ノ御贊同否御引
 立テ蒙リ日ニ増シ販路盛大ニ趣キ候段難有奉鳴謝候就テハ今般更ニ
 一大新發明ノ人造珊瑚發賣本品ハ從來ヨリ行ハル、人造物ノ比ニ
 アラス其性質ヲ異ニシ色澤量目玉音生地合等ニ至ル迄天然珊瑚ニ異ナ
 ラズ殊ニ毀損ノ憂ナク實ニ天然物ト人造物ト識別ニ苦ム程ノ物品ニ
 テ一名ヲ日本珊瑚ト稱シ今回弊堂ヨリ發賣仕候間全國同業者諸君
 陸續御買求御買捌ノ程奉希望候謹言

附言

賣捌御望ノ方ハ發賣元及ヒ代理特約店へ御申込被下度御買定價表直
 ナニ郵送可仕候

注意

本品一粒毎ニ其換形區々ナルヲ以テ小賣直段表ヲ作ラズ御買直段表
 ノミトス

但シ百粒ノ内幾十種ニモ甲乙ヲ附スル品スリ

静岡縣濱松町後道五十六番地

發明製造元

尾崎氣樂堂

發賣代理店

全
江川支店

各御得意様

東京市日本橋區橫山町二丁目小問物問屋

大改良萬國無類



販賣本舗

東京日本橋區
淺井關造

丸善商店發賣品廣告

婦人小問物類各種

御櫛御櫛類各種

連影御櫛簪玉

小町かみ

新形花簪根掛手柄類

雲井織改良鹿の子

改良蠟引紙壽賀

ゴム櫛笄根掛花簪類

諸化粧品類特約發賣

花の君御白粉

花の君石鹼

花の君石鹼

此キツク齒磨キハ、軟軟ニシテ、歯肉ヲ傷メズ、且ニ、
 タル重寶無比ノ品ナレバ、見ル人各々必要ヲ感セザル者ナシ、之ヲ在來ノ入
 物ニ比シ、スレバ、價ハ最モ廉ナリ、發明未タ、日淺ク
 モ、種々御注文ノ幸蒙レ、送テ向希ク、ハ、普ク此三用
 器ノ有益トヤシク、尚、備テ、特効アルヲ御吹聴ノ上
 益々御注文ノ程ヲ伏テ奉希上候
 罐製定價金拾三錢以上三拾五錢以下
 袋入定價金二錢
 製作元 東京 贊成堂

委任廣告

商弘社

川越鐵道廣告

大畑廣告

人造香

洋風花

小町かみ

改良蠟引紙

ゴム櫛笄

諸化粧品

花の君御白粉

花の君石鹼

花の君石鹼

東京朝日新聞



新年餘興種募集

來三十二年一月五日發行の小間物商報第八十號は通常の頁數を二倍半即ち四十ページと一餘興種を成べく澤山掲載の見込に付漢詩、狂詩、正文、狂文、和歌、狂歌、俳句、狂句、三題ばなし、一口ばなし、落語、其他何なり共澤山投稿被下度候。

但し切は二月十日限り投稿は例の通り東京市淺草區須賀町十九番地西森武城宛の事

東京小間物商報編輯局

歌御會始御題

明治三十一年歌御會始御題は「新年雪」と仰せ出され詠進書式并に期限等の通り定められたり。料紙は檀紙、奉書、毛原紙、又は美濃紙を用ふべし。

詠進期限は一月十二日迄。

御題	名上
...	...
...	...
...	...
...	...

裏面書式
東京市浅草区须贺町十九番地西森武城
土曜又は日曜
首
字
名

電報用券代用不可(四五回券三回券)
五回券(五字) 三回券(三字) 一回券(一文字)
以上六種を備へて賣出。以上拾銭。
東京日本橋區新町四十五番地
東京小間物商報組合事務所

清浦司法大臣の行政整理談

行政の整理とは行政の不整理なるを整理することにて經費節減の主意にあらざれば行政は随つて整理すれば又不整理の起るものにて整理の必要は譬へば一家の掃除修繕の意に非ざるや同様な事を見るに至るべし。掃除を怠れば家の傾き腐るの如し、行政に於ても然るべし。左れば時に閣内閣外に出入の付替等の必要も起るべし。此邊より考ふれば行政整理委員は常置委員として常に設置しありて然るべきものなり。而して行政整理の方針は最初より一定せる如く繁文を省きて事務の簡潔を期するに在り。就中下級行政に於て複雑を極め居る手續の如きは務めて之を除去せんと欲す。然れども整理の事たる勅令を改め法律を變じて始めて其旨を世間に發表することあり。又世間には少しも知らしむる間に内規を改め訓令を發して大に事務を簡潔ならしむるものもあり。此の如く始終不整理なるものを整理して行くことなれば何々を期し、整理するなきは仰山に前觸するを要せず。要は其實行に在り。左れば當局者は其責を擧げんことを期し、世人は其實の是非に就て始工巧拙の批評を爲すことを至當なれ。唯其聲のみ聞て兎角の説と立るは誤れりと云々。

豫算と増税

三十一年豫算案は多分一兩日前既に印刷を終りたるべし。而して其歳入不足額は二千四百萬圓なるが之を補足する方策の第一は田畑地價修正を行ふに在り。其算定方法は收穫を以て在來の比例に算定し而して右代相は一石に付七圓の算例に變更すべし。蓋し明治六年より十四年に至る迄の平均は一石四圓十八錢五厘なり。

農商工商會議員の新任命

農商工商會議員の新任命に關しては大阪府農務大臣たりし當時其候補者に對し規則を改正し一層規模を擴張すべし。事及び其任命の内幕及び開會期定期等を通知したる新山田新農組長任以來未だ何等の通知をも爲され候補者中には從來の組織には充分其職責を盡す能ざるを以て假令多少の改正あらんも受任せざるに如すとの意見を述べ居るもの多しといふ。

大阪府農務大臣に於ける目下經濟界の困難は實に阻止すべからざるものあり。而して三の有力者は先般來東京して兩々救済策を講じつゝあるが如し。近日大阪府農務會議所は之が救済策を講じし大阪府農務大臣及び日本銀行に提出し、預委員を以て附情せしむる等の由なるが其内情の一斑なるものを聞くに

一、民間に外資を輸入するに就ては政府は充分之を補助の勢を取られたる事

二、目今の通貨は我經濟界の爲め不足を感ずるに就て兌換券發行高を増加せられたる事

等、其重なるものにして此際魚眉の急に應ずるに足る方法を選択し是非當局者の施設を要請する等なりといへり。

全國實業臨時會

全國實業臨時會 全國實業各團體は廿一日午後一時より之の公團前田正名氏を以て在京各委員等の臨時會を開き、各團體より来る第十一號會は提出すべし。蓋し其間に對しての所爲多し。

五二會

前田正名君... 本月十一日... 野村公...

- 三輪善兵衛君... 田中定次郎君... 清水八右衛門君... 安藤福太郎君...

前田監督... 同會開催... 付森村本...

前田正名君... 五二會東京本部長... 森村市左衛門...

前田監督... 同會開催... 付森村本... 森村市左衛門...

前田監督... 同會開催... 付森村本... 森村市左衛門...

●電報の通達 運送交通の盛況に著しく、従
 いて全国各地共に電報を用いる者の数日に増加
 し、其間電報の不通或は死電等の事往々に起り
 爲めに非常なる損害危険を来たしたるの憾に今日
 までは妨がらざるに依り、通達には此を見る所
 ありて大に後を預防せんが爲り、電報郵便の確
 なるが如く電報に於ても同じく確実の方法を設け
 ざる可からずとの願起り、電報郵便を新設して
 以て電報の確実を待たんと目下計畫中なりと聞
 く、但し此電報郵便なるものは、泰西諸國に廣く行は
 るる者にして日本に於ても從來海外電報には此方
 法を取らずに、既に居りし如く

●貿易振興の活用如何 戦後の海外貿易、諸
 國として第九議會に於ては六萬圓宛廿九年度、
 三十三年度まで五ヶ年間繼續費として支出を請
 求し其方法として第一農工商各會議を開設せし
 め何等の効果を待たずして、第二海外商況視察と
 して主務省の參事官并に技師等を歐米及び支那等
 に派遣したるも、其復命報告等は、尙營業者に利益
 を與へず、第三高等商業學校卒業生及び之れに相
 當するもの七名を英米獨逸及び支那に派遣し月額
 五十圓内外の補助を與へ、今尙研究せし居れば結
 果の如何は未定に屬す、第四我國の商品見本を外國
 貿易博物館等に陳列せしは、尙外國人の視線を惹
 くの感あり、第五商品製作上の改良進歩を計る爲り
 工業學校等に託して工藝の試験製造を爲さしむる
 と及び第六海外の商況を敏捷に精査して營業者
 に頒布すると等は、未だ何等の效果を見ざるが如く、
 兩年度に於ては十二萬圓の支出を空しく費消す
 ると全く其監督の不行用と人選の杜撰なるに依り、
 のなれば今後年度の擴張費として一層有益に費
 す方法を研究ありしと、或營業家は悶れり

●最近登録商標摘要

- 品名、紅、白粉、其他染料、調子花の生したる水
 上に塊が附來せる圖
 横濱居留地編造園
- 品名、化粧下、香水、香油、香袋、愛膏、圓形の内
 部に左向せる馬首を顯し外周には下部に二個の花
 筒上部に三條の布片を繞したるもの
 東京府 高橋 志摩五郎
- 品名、煉香、香袋、根枝の下部を交叉し其先端
 を上方に掲げて扇を楕圓狀に創したるもの、内
 部に左方を扇の柄をもちたる官女の半身を顯し
 たる圓を、其下に平假名交り行書にて「小町ね
 り」と書下したるもの
 栃木縣 根本 三郎
- 品名、齒磨、洗粉、楳實金世界の文字
 東京府 梅 久兵衛
- 品名、洗粉、角切短長方形の隅内に楕圓形を
 創し其圓縁に楳實の模を顯し楕圓形の内に
 平假名交り行書にて「玉子」から「粉」と書下した
 るもの
 同 中 辰 百 助

●品名、化粧下、香水、香油、香袋、愛膏、圓形の内
 部に左向せる馬首を顯し外周には下部に二個の花
 筒上部に三條の布片を繞したるもの
 東京府 高橋 志摩五郎

●品名、洗粉 小町標の文字
 大坂府 中西 新四郎

●品名、化粧下 山本「あれま」及「羅馬字」
 にて美濃液の文字
 阿 山本 金兵衛

●品名、石鹼 羅馬字にて「セリイ、フロン
 ソム」と書したるもの
 英國 スチュアート、オグスター

●品名、紅、白粉、其他染料、縱長方形の密形を描
 其内部上方に穿狀の布形を置き右下部には装
 飾せる四分一圓を顯し又下部には岩石及樹木の
 景を描き其上方に斜置せる布片の上に一羽の鷲
 の止れる圖
 獨逸國 アムス、エ、マ、

●品名、石鹼、其他藥劑數種 楕圓の面に十字形
 を顯したるもの
 東京府 安川 榮次郎

●品名、香水 縱長方形の内部に唐草を配置
 し其上部に蝶及鳥類下部に對向せる男女を顯し
 而して中央には草花を以て泉を圍み其中央に
 置上げたる草花より噴水せる圖を畫し其面上に
 羅馬字にて「フロッグ、ツオタル」と變狀に記し
 下部に「マン、マン、マン」と變狀に記し
 顯したるもの
 米 國 エドワード、ゲム

●品名、同上 同上下部に「マン、マン、マン」
 「ランマン」と變狀に記したるもの
 同 人

●品名、化粧下、香水、香油、香袋、愛膏、圓形の内
 部に左向せる馬首を顯し外周には下部に二個の花
 筒上部に三條の布片を繞したるもの
 東京府 高橋 志摩五郎

●品名、煉香、香袋、根枝の下部を交叉し其先端
 を上方に掲げて扇を楕圓狀に創したるもの、内
 部に左方を扇の柄をもちたる官女の半身を顯し
 たる圓を、其下に平假名交り行書にて「小町ね
 り」と書下したるもの
 栃木縣 根本 三郎

●品名、齒磨、洗粉、楳實金世界の文字
 東京府 梅 久兵衛

●品名、洗粉、角切短長方形の隅内に楕圓形を
 創し其圓縁に楳實の模を顯し楕圓形の内に
 平假名交り行書にて「玉子」から「粉」と書下した
 るもの
 同 中 辰 百 助

●品名、化粧下、香水、香油、香袋、愛膏、圓形の内
 部に左向せる馬首を顯し外周には下部に二個の花
 筒上部に三條の布片を繞したるもの
 東京府 高橋 志摩五郎

此藥の功効は、
 あつた、
 まつた、
 水、
 性、
 の、
 入、
 高、
 評、
 石、
 鹼、
 一、
 個、
 廿、
 五、
 錢、
 一、
 個、
 廿、
 五、
 錢、
 一、
 個、
 廿、
 五、
 錢、

北極星各種藥問屋
 山田篤三謹製



優等 入香 磨

特別練製

此石鹼は世間在來の物と大に其質を異にし純好なる原料
 に練製せしめ和せるを以て芳香佳烈一たび用ゆれば皮膚
 滑らかに色澤を如く一種得難い句を含み其爽やかなる云々
 實に其名に當るざるを以てなり云々益々倍愛願試用品之
 快而希求者甚

發賣元 東京市神田區柳 小林富治郎
 原川岸十八番地
 市内は勿論全國到處の和洋小問物店及藥舖に販賣、居
 候間最寄にて御購求を乞ふ

CORAL DEALER.

皇國 舶來 珊瑚 珠

珊瑚樹 枝置物數種 其他珊瑚一切
 珊瑚 美術彫刻品 所需ニ應ズ

今般業務擴張致爾後多少ニ拘ラズ廉直販賣仕候間御愛顧御引立
 ノ程奉願上候

珊瑚珠問屋 余
 大坂南區大寶寺町 小栗勘兵衛本店
 東京馬喰町三丁目 小栗勘兵衛支店

秋の花妻 (第八回)

大作成丈高になり、大ヤア盗人狂々しいは、汝が...

はしきにもせし人を探へて、運不運に身体を改むる...

われ見よ小貳の一族は野の松吹く風の舞臺に...



此處で様子と聞けば、近頃は那方にはあらずして...

米國の煙草製造法 本邦の煙草は、昔香成は...

米國の煙草製造法 本邦の煙草は、昔香成は...

白粉製造に用ゐる鉛 淡洲、アノルン産の鉛...

白粉製造に用ゐる鉛 淡洲、アノルン産の鉛...

●字都宮和洋小間物商組合 同組合の成立せし
 由にて其規約を得たれば左に掲ぐ
 第一章 總則
 第一條 本組合ハ字都宮市内ニ於ケル和洋小間物
 營業者ヲ以テ組織ス
 第二條 本組合ハ字都宮和洋小間物商組合ト稱シ
 第三條 本組合ハ和親協同ヲ旨トシ取引ノ信用ト
 營業ノ發達トヲ講究スルヲ以テ目的トス
 第四條 本組合ノ印章左ノ如クシ(兼形略ス)
 第二章 組合員
 第五條 本組合員ハ左ノ看板店頭ニ掲ケルモノ
 第六條 本組合ニ加盟者アルハ其組合員ニ於テ本規
 約ヲ示シ記名捺印セシム其旨組合員ニ通報スル
 第七條 本組合員ニシテ廢業死亡若クハ市外ニ轉
 住セントスルモノハ其理由ヲ明記シ看板店頭ニ
 之ヲ貼ルニ出出ツヘシ
 第八條 組合員ノ義務左ノ如シ
 一 組合規約ヲ遵守スベキ事
 二 組合全体ノ利害ニ關スル件及總會決議ノ件
 三 對シ組合員ノ通告若クハ注意ニ従フ事
 三 各自ノ私行上ニ於テ組合ノ体面ニ關スル事
 行爲ヲ慎ムベキ事
 第九條 組合員中前條ノ規定ニ違背シタルモノハ
 役員會ノ評決ヲ以テ組合ヲ除名スルカ又ハ相當
 ノ違約金ヲ徴收シタル上新聞紙ヲ以テ公告スル
 コトアル
 第三章 役員
 第十條 本組合ハ左ノ役員ヲ置ク
 一 組長 壹名 二 幹事 貳名
 一 會計 壹名 二 評議員 拾名
 第十一條 役員ノ總會ニ於テ之ヲ選舉ス
 第十二條 役員ノ任期ハ滿壹年トシ滿期ノ後再
 選スルコトヲ得
 第十三條 當選者ハ疾病其他止ムヲ得サル事實ヲ
 證明スルモノアルヲ以テハ辭任スルコトヲ得
 第十四條 組長ハ組合ノ事務ヲ總理ス
 第十五條 幹事ハ組長ヲ補佐シ庶務ヲ處理シ組長
 事務放アルトキハ之ヲ代理ス
 第十六條 會計ハ組長ノ同意ヲ得テ金銭ノ出納ヲ
 掌ス
 第十七條 評議員ハ組長ノ協同ニ參與スルモノト
 第十八條 組長ハ組合事務所ノ事務施行上當配ヲ
 任免スルコトヲ得
 第十九條 役員ハ組合規約トシテ
 但滿期ノ後組長幹事會計ニ限リ總會ノ決議ニ
 依リ罷免金又ハ補選ノ權限ハ左ノ如クシ

第四章 會議
 第二十條 會議ハ分ク通常臨時總會ノ式種トス
 第二十一條 通常會ハ毎年一月之ヲ開キ前年度ニ
 於ケル業務ノ長況及出納ノ決算ヲ報告シ經費ノ
 金額徴收ノ方法ヲ議決シ役員ヲ選舉ス
 第二十二條 會議ハ豫メ開會ノ日時場所等ヲ定メ
 會議ノ要項ヲ記載シ組長ヨリ組合員ニ同ノ通
 知スルモノトス
 第二十三條 臨時會ハ役員會ノ決議及組長ニ於テ
 臨時必要ト認メタル場合若クハ組合員十名以上
 ノ請求ニ依リ之ヲ開クモノトス
 第二十四條 會議ノ議長ハ組長ニ任ス組長事故
 アルトキハ幹事ヲ代理ス
 第二十五條 會議ハ組合員ノ半数以上出席スルニ
 アラサレバ議決スル事ヲ得但同一ノ議事ニ付
 召集再回ニ至ルハ此限ニアラス
 第二十六條 議事ハ出席員ノ過半数ヲ以テ之ヲ決
 ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依リ
 第二十七條 總會ノ事項ハ總會決議ニ登載シ其
 時々職員調查委員二名ヲ選定シ會長ト共ニ署
 名捺印シ之ヲ保存スルモノトス
 第二十八條 役員ハ役員會ヲ以テ組織シ組長ニ於
 テ必要ト認メタル場合ニ於テ臨時之ヲ開クモノト
 ス
 第五章 雜則
 第二十九條 本組合員ハ其從業者ニシテ各店則ニ
 定期期限ヲ動轉シタルモノハ之ヲ組長ニ申出ルモ
 ノトス組長ハ組合員ノ名ヲ以テ精勵章ヲ附與シ組
 長會ノ告知スルモノトス
 第三十條 本組合員中ノ從業者ニシテ不都合ノ行
 爲アリテ解任シタルモノアルハ其事由ヲ具シ
 テ組長ニ届出ツヘシ
 第三十一條 本組合員中死亡若クハ非常ノ災害ニ
 罹リタルモノアルトキハ役員會ノ決議ニ依リ適
 當ノ方法ヲ以テ組合ノ意志ヲ表示スルモノトス
 第三十二條 組合員間又ハ組合員ト取引先トニ於
 テ營業上ニ付紛議ヲ生シタルトキハ組長ニ申告
 但役員會ノ審査決定ヲ受クヘシ
 第三十三條 本組合員ハ當市中ノ同業者ニシテ本
 組合員加入セザルモノハ之ヲ其加入ノ勸誘ヲ
 爲スルモノトス
 第三十四條 本組合員解散若クハ本規約ヲ改正
 シタルトキハ總會ハ三分ノ二以上ノ同意
 ヲ以テ之ヲ決スルモノトス
 (組合員人名ハ略ス)

品質純良
 ナルヲ以テ
 テ廿五年以
 紀念博覽
 會ニ於テ
 褒狀拜受

此洗粉ハ普通
 品ト異なり米國大
 藥師ノ名法ニ良好
 候に付第一等頭
 品ト出シにきび
 洗に用テ髪ノ毛
 髪を洗ハシ
 候に付第一等頭
 品ト出シにきび
 洗に用テ髪ノ毛
 髪を洗ハシ

池田松葉軒
 天野源七

東京小間物商組合各店

品質善
 其價格
 低廉ニ
 シテ正
 眞ノ香
 氣アル
 ハ貓印
 商標
 香石
 麝香

東京横山町二丁目
 田中花王堂廣告

定價
 一號 十五錢
 二號 十錢
 三號 七錢
 四號 五錢
 五號 三錢

池田松葉軒
 天野源七

東京小間物商組合各店

此洗粉ハ普通
 品ト異なり米國大
 藥師ノ名法ニ良好
 候に付第一等頭
 品ト出シにきび
 洗に用テ髪ノ毛
 髪を洗ハシ

第四回内閣
 勸業博覽會
 褒狀拜受

官中御用海外輸出之鼻祖
 芳名卓著

天下唯一
 粉白性害無

煉水製
 大瓶十五錢
 中瓶十錢
 小瓶七錢
 大瓶十五錢
 中瓶十錢
 小瓶七錢

王大之粉白

海四輝聲名



高等化粧品。イリス粉石鹼 (名西洋洋粉) 發賣廣告

● 本化粧品は、イリスの花を原料として、名貴な香料を配合し、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

● 本化粧品は、皮膚を清潔にし、白く滑らかな肌をつくり、また、紫外線を遮断し、皮膚を保護する効果があります。

● 本化粧品は、男女老若、四季を通じて、いつでもお使いいただけます。

● 本化粧品は、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

特約大販賣 東京日本橋區本町四丁目松澤化粧品部
山崎町一丁目天野源七

懐中電燈

新製輕便電燈、手回し、小水本在、半尾製造

懐中電燈の便利は、夜間の行動に大いに役に立ちます。本製品は、手回しで充電し、電球は長持ちで、非常に輕便です。また、水本在という特徴があり、安心して使えます。

● 大形
● 中形
● 小形

雲南製香粉

優等水白粉花の友、艶自慢煉リスリノ廣告

● 本粉は、雲南省の名貴香料を原料として、名貴な香料を配合し、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

● 本粉は、皮膚を清潔にし、白く滑らかな肌をつくり、また、紫外線を遮断し、皮膚を保護する効果があります。

● 本粉は、男女老若、四季を通じて、いつでもお使いいただけます。

● 本粉は、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

大野金城堂

拙店儀今回御得意様諸彦ノ御進メニヨリ肩書ノ所エ移轉ノ業務擴張勉強仕候間舊ニ倍シ御愛顧之程奉懇願候

日本橋區米澤町二丁目八番地 村田宗清 舊大傳馬町

小間物問屋

善丸見屋善兵衛

● 本問屋は、小間物の専門店で、品揃え豊富で、価格も大変お安く、お客様に喜んでいただいております。

● 本問屋は、小間物の専門店で、品揃え豊富で、価格も大変お安く、お客様に喜んでいただいております。

● 本問屋は、小間物の専門店で、品揃え豊富で、価格も大変お安く、お客様に喜んでいただいております。

花君の石鹼

● 本石鹼は、花君の石鹼を原料として、名貴な香料を配合し、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

● 本石鹼は、皮膚を清潔にし、白く滑らかな肌をつくり、また、紫外線を遮断し、皮膚を保護する効果があります。

● 本石鹼は、男女老若、四季を通じて、いつでもお使いいただけます。

● 本石鹼は、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

花君の白粉

● 本白粉は、花君の白粉を原料として、名貴な香料を配合し、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

● 本白粉は、皮膚を清潔にし、白く滑らかな肌をつくり、また、紫外線を遮断し、皮膚を保護する効果があります。

● 本白粉は、男女老若、四季を通じて、いつでもお使いいただけます。

● 本白粉は、化粧料中の最高級品と認められて、世界中に愛用されています。

●經濟界刷新策 經濟界の日に非運に傾く、一部の事業家及び投資者流のみならず内地に於ける確立する諸工業家等に至る迄皆逆境に立たざるものはない。特に近年長足の進歩を爲したる紡績業の如きは労働費の騰貴と支那貿易の不利なるに加之原料の仕入れに高額の資金を要する等より殆んど營業を持続し難きものあるに至り、其他内地向きの目的とする小資本の會社銀行等何れも困難を極むるは世人の目撃する所なり。是國家の爲り大に憂慮すべき事に相違なきも、經濟社會に一般一表あるは何れの邦家といへども免る可からざるの勢にして其發達せし國柄程度を來すの數も亦多しと云へば是亦非なき事と言ふの外なし併し此現象たる我國經濟界の人士が如何にも近視にして唯目前の小利にのみ顧みし徒に小資本を以て限りある内地に競争を試みんとし從來比較的安樂に利益を得來りたるの反動にあらざるなきか見よ如何に資本に乏しき國柄とは云へば銀行者は年九割乃至二割の利益を配當し其他製造會社若くは商工業會社は大抵一割内外の配當を爲さざるものなし斯る有様なれば彼等は十數年の後國を期し而外に對峙するに足る大商工業を營むが如き雄心を抱く者もなきにあらざるや斯く今日我國の商工業者は何時迄も内地の方針のみを遵守すべきにあらざるや歐米各富強國は兎に角對岸の支那すら近來挑源の憂を極り紡績に獨り其の諸工業種々勃興せんの外なれば我國經濟界の人士たるもの奮闘一番宜しく低往に内地の小利を抛ち海外的進取の策を取り而して國を爲すの計畫を講ずべきなりと經營者は憤慨す

●商標粉處方數例 (東京商標)

左に記載せる商標粉製法はコンクリン粉が、糖質大學校に差出したる論文中心より採集したるものなり

(一) 常用コンクリン粉

「メタナフトール」 0.000
「サンカリン」 0.010
沈降製炭酸加爾更炭 0.000
石鹼 0.000
適宜量

(二) 常用「ソール」粉

「メタナフトール」 0.000
「サンカリン」 0.010
沈降製炭酸加爾更炭 0.000
石鹼 0.000
適宜量

(三) 收斂性商標粉

沈降製炭酸加爾更炭 1.000
食塩 0.000
沈降製炭酸加爾更炭 0.000
石鹼 0.000
適宜量

(四) 練炭含有の商標粉第一號

練炭 0.000
石鹼 1.000
「サンカリン」 0.010
知母粉 0.000
沈降製炭酸加爾更炭 0.000
「サンカリン」油 1乃至2滴
練炭(知母粉及「サンカリン」油、炭酸石灰と共に混和する前に少量の酒精に溶解せざる可からず)

(五) 練炭含有の商標粉第二號

練炭 0.000
石鹼 1.000
「サンカリン」油 0.010
沈降製炭酸加爾更炭 0.000

全 國 同 業 者 諸 君 謹 告

特許出願中

尾崎又三郎
川瀬三四郎

人造珊瑚日本珠發賣廣告

時下向寒之候ニ御座候處各位益々御降盛奉大賀候倍々弊堂從從來專賣特許日本清酒用藥劑ヲ以テ普ク醸造家諸君ノ高評ヲ博シ續テ化粧用垢落シ「ヤマト」及ヒ煉洗粉製造發賣仕候處是亦各位ノ御贊同否御引立テ蒙リ日ニ増シ販路盛大ニ趣キ候段難有奉鳴謝候就「ハ」今般更ニ「大新發明」ノ人造珊瑚發賣本品ハ從來ヨリ行ハル、人造物ノ比ニ「アラス」其性質ヲ異ニシ色澤量目玉音生地合等ニ至ル迄天然珊瑚ニ異ナラズ殊ニ毀損ノ憂ナク實ニ天然物ト人造物トノ識別ニ苦シム程ノ物品ニシテ一名ヲ「日本珊瑚」ト稱シ今回弊堂ヨリ發賣仕候間全國同業者諸君陸續御買求御賣捌ノ程奉希望候謹言

附 言

賣捌御望ノ方ハ發賣代理店へ御申込被下度御買定直價表ナニ郵送可仕候

注 意

本品一粒毎ニ其換形區々「アラス」ヲ以テ小賣直價表ヲ作ラズ御買直價表ノ「ミ」トス

但シ百粒ノ内幾十種ニ「甲乙」ヲ附スル品ナリ

發賣製造元 尾崎氣樂堂

發賣代理店 全 江川支店

東京市日本橋區橫山町二丁目小間物問屋

●鐵道の貨物運送 官設鐵道に對する私鐵の
 支拂は漸く甚だしく一方は貨物の積滞日を追つて
 増加するを以て鐵道局には其改良方法を請
 究し取敢へず貨車二千五百輛と外國に注文した
 貨物の運搬力を増進せしむるの計畫なりしが不幸
 にも右貨車の一部は去る七月中旬葡國リスボン沖
 に沈没したる大坂商船會社の海船北九に搭
 載しありしかば船體と共に海中に没し在に既定通
 り計畫を實行するを得ざるに至れり其後引續き貨
 車の注文したれども未だ本邦に到達せるもの二萬
 今に至りては貨物の東海運送に滞礙せるもの二萬
 順信越線に於けるもの一萬順に達し大坂商船會
 議所を初めとして其運搬處分方を當局者に迫るも
 の願を接し世間の文藝益々熾なれば當局者も今は
 控へ置き難く現在の貨車と適合せしむるに貨物列
 車の内旅客列車の差立一回を減じ代ふるに貨物列
 車を以てし此種貨物と運送する事に決し近日よ
 り實行する等なりと云ふ

●横濱五三會輸出取扱所 横濱五三會大倉
 の交際に基づき株式組織を以て五三會輸出取扱所
 を神戸及び横濱の兩所に設置する事となり神戸の
 同所は既に設立の運びに至りたるも横濱に於ける
 輸出品取扱所は一時中止の姿となり居る處同
 所の設立は至極必要のものなれば此際一日も早く
 設立せんとす目下奔走せる者ありと云ふ

日用品物價の比較

昨二十九日十一月に於ける日用品物價と現今の諸
 物價とを比較すれば左の如し

米 (一圓に付)	三十九年十一月	三十九年十一月
一等米	四十八圓七角五分	四十八圓七角五分
二等米	四十八圓九角五分	四十八圓九角五分
三等米	四十九圓一角五分	四十九圓一角五分
四等米	五十一圓一角五分	五十一圓一角五分
五等米	五十二圓一角五分	五十二圓一角五分
六等米	五十三圓一角五分	五十三圓一角五分
七等米	五十四圓一角五分	五十四圓一角五分
八等米	五十五圓一角五分	五十五圓一角五分
九等米	五十六圓一角五分	五十六圓一角五分
十等米	五十七圓一角五分	五十七圓一角五分
十一等米	五十八圓一角五分	五十八圓一角五分
十二等米	五十九圓一角五分	五十九圓一角五分
十三等米	六十圓一角五分	六十圓一角五分
十四等米	六十一圓一角五分	六十一圓一角五分
十五等米	六十二圓一角五分	六十二圓一角五分
十六等米	六十三圓一角五分	六十三圓一角五分
十七等米	六十四圓一角五分	六十四圓一角五分
十八等米	六十五圓一角五分	六十五圓一角五分
十九等米	六十六圓一角五分	六十六圓一角五分
二十等米	六十七圓一角五分	六十七圓一角五分
二十一等米	六十八圓一角五分	六十八圓一角五分
二十二等米	六十九圓一角五分	六十九圓一角五分
二十三等米	七十圓一角五分	七十圓一角五分
二十四等米	七十一圓一角五分	七十一圓一角五分
二十五等米	七十二圓一角五分	七十二圓一角五分
二十六等米	七十三圓一角五分	七十三圓一角五分
二十七等米	七十四圓一角五分	七十四圓一角五分
二十八等米	七十五圓一角五分	七十五圓一角五分
二十九等米	七十六圓一角五分	七十六圓一角五分
三十等米	七十七圓一角五分	七十七圓一角五分
三十一等米	七十八圓一角五分	七十八圓一角五分
三十二等米	七十九圓一角五分	七十九圓一角五分
三十三等米	八十圓一角五分	八十圓一角五分
三十四等米	八十一圓一角五分	八十一圓一角五分
三十五等米	八十二圓一角五分	八十二圓一角五分
三十六等米	八十三圓一角五分	八十三圓一角五分
三十七等米	八十四圓一角五分	八十四圓一角五分
三十八等米	八十五圓一角五分	八十五圓一角五分
三十九等米	八十六圓一角五分	八十六圓一角五分
四十等米	八十七圓一角五分	八十七圓一角五分
四十一等米	八十八圓一角五分	八十八圓一角五分
四十二等米	八十九圓一角五分	八十九圓一角五分
四十三等米	九十圓一角五分	九十圓一角五分
四十四等米	九十一圓一角五分	九十一圓一角五分
四十五等米	九十二圓一角五分	九十二圓一角五分
四十六等米	九十三圓一角五分	九十三圓一角五分
四十七等米	九十四圓一角五分	九十四圓一角五分
四十八等米	九十五圓一角五分	九十五圓一角五分
四十九等米	九十六圓一角五分	九十六圓一角五分
五十等米	九十七圓一角五分	九十七圓一角五分
五十一等米	九十八圓一角五分	九十八圓一角五分
五十二等米	九十九圓一角五分	九十九圓一角五分
五十三等米	一百圓一角五分	一百圓一角五分

味噌 (一升に付)	三圓五角	二圓五角
醤油 (一升に付)	五圓五角	四圓五角
酒 (一升に付)	八圓	七圓
茶 (一升に付)	十圓	九圓
糖 (一升に付)	十二圓	十一圓
油 (一升に付)	十五圓	十四圓
紙 (一升に付)	十八圓	十七圓
布 (一升に付)	二十圓	十九圓
米 (一圓に付)	四十八圓七角五分	四十八圓七角五分
小麦 (一圓に付)	五十二圓一角五分	五十二圓一角五分
大豆 (一圓に付)	五十五圓一角五分	五十五圓一角五分
赤豆 (一圓に付)	五十八圓一角五分	五十八圓一角五分
綠豆 (一圓に付)	六十二圓一角五分	六十二圓一角五分
黑豆 (一圓に付)	六十五圓一角五分	六十五圓一角五分
白豆 (一圓に付)	六十八圓一角五分	六十八圓一角五分
黄豆 (一圓に付)	七十二圓一角五分	七十二圓一角五分
紫豆 (一圓に付)	七十五圓一角五分	七十五圓一角五分
黑豆 (一圓に付)	七十八圓一角五分	七十八圓一角五分
綠豆 (一圓に付)	八十二圓一角五分	八十二圓一角五分
赤豆 (一圓に付)	八十五圓一角五分	八十五圓一角五分
大豆 (一圓に付)	八十八圓一角五分	八十八圓一角五分
小麦 (一圓に付)	九十二圓一角五分	九十二圓一角五分
味噌 (一圓に付)	九十五圓一角五分	九十五圓一角五分
醤油 (一圓に付)	九十八圓一角五分	九十八圓一角五分
酒 (一圓に付)	一百圓一角五分	一百圓一角五分
茶 (一圓に付)	一百零二圓一角五分	一百零二圓一角五分
糖 (一圓に付)	一百零四圓一角五分	一百零四圓一角五分
油 (一圓に付)	一百零六圓一角五分	一百零六圓一角五分
紙 (一圓に付)	一百零八圓一角五分	一百零八圓一角五分
布 (一圓に付)	一百一十圓一角五分	一百一十圓一角五分
米 (一圓に付)	四十八圓七角五分	四十八圓七角五分
小麦 (一圓に付)	五十二圓一角五分	五十二圓一角五分
大豆 (一圓に付)	五十五圓一角五分	五十五圓一角五分
赤豆 (一圓に付)	五十八圓一角五分	五十八圓一角五分
綠豆 (一圓に付)	六十二圓一角五分	六十二圓一角五分
黑豆 (一圓に付)	六十五圓一角五分	六十五圓一角五分
白豆 (一圓に付)	六十八圓一角五分	六十八圓一角五分
黄豆 (一圓に付)	七十二圓一角五分	七十二圓一角五分
紫豆 (一圓に付)	七十五圓一角五分	七十五圓一角五分
黑豆 (一圓に付)	七十八圓一角五分	七十八圓一角五分
綠豆 (一圓に付)	八十二圓一角五分	八十二圓一角五分
赤豆 (一圓に付)	八十五圓一角五分	八十五圓一角五分
大豆 (一圓に付)	八十八圓一角五分	八十八圓一角五分
小麦 (一圓に付)	九十二圓一角五分	九十二圓一角五分
味噌 (一圓に付)	九十五圓一角五分	九十五圓一角五分
醤油 (一圓に付)	九十八圓一角五分	九十八圓一角五分
酒 (一圓に付)	一百圓一角五分	一百圓一角五分
茶 (一圓に付)	一百零二圓一角五分	一百零二圓一角五分
糖 (一圓に付)	一百零四圓一角五分	一百零四圓一角五分
油 (一圓に付)	一百零六圓一角五分	一百零六圓一角五分
紙 (一圓に付)	一百零八圓一角五分	一百零八圓一角五分
布 (一圓に付)	一百一十圓一角五分	一百一十圓一角五分

花王石鹼

花王石鹼ハ品質最
 も精良にして特に皮
 膚の美觀をまじ且衛生
 上大に特効あるのみならず

**宮内省陸海軍
 帝國醫科大學**

其他各病院の御用を命せら
 れ或以博士大家の實驗證明と與へ
 られ浴内外用諸君の高潔を博し
 たるを以て推知せられんとす

●賣捌所ハ全國至る處にあり
 近來粗製品に類似の牌號を附し販賣する者有之に付本品の
 正圖則登錄商標及良類富郎名義に御注意の上御求取下度候

東京市日本橋區通町
發賣本舖
 灰谷儀助

製造元 森川積善堂
 發賣元 丸見屋善兵衛

二九花浪話電 目丁町吹馬京東
郎富瀨長 舖本賣發造製

京美

雲井石鹼
 香氣濃郁
 定價 一個十二錢

京美 化粧石鹼
 定價 一個十錢

船來物品 學校用品
 洋燈心類

製造元 森川積善堂
 發賣元 丸見屋善兵衛

●本品の特色●
 普通品に比し多量
 の光澤を有し且多量
 の光澤を有し且多量
 の光澤を有し且多量

又古去トベ

維新の樂書(未完)

過にし桃の花見月、登城をせし待かけて、まつと見合す御簀と顔、新証らしうてやさうたで、人の見る目も女九のその、つくんで来ててもさうらねぬ、目先に油断か側の衆も、ころびやせまい雪ふりに、ぬれてこへてとこころ手、ついにしたわけになつたのが、積りついでにつしかに、水戸と

あべこべもんか千代はくれ

あれ、みんが知つて今度の騒動、もんかあべこべ、日本に生れて日本の飯食て、元より思心まゆりてふゆりて、感病みれんで感づらかばい、控を破つてまひすにゆるして、調印されたは、開明以來の職ではね(か)、其上約書の執行したのを、買らざるなんぞは、己れが罪を世間へ知らせる阿房の限りだ、神社や寺に町人いぢりて金銀とり立て、おふりといふ人いぢりかあつても、己れが都合にならぬ人を、じやかばいして大事の政事を、ひいさでするのほどうしたものだ、畜生たよな美人をおかして江戸中あるかせ、神社と佛閣家や羊のへどにて殺させ、べらばに大きな貳朱銀をこせへて見たれど、夷人此れねこば、見たよにかへして置くと、あんなさう取たよ、またあるぞ、御朱印なんぞの奪ひか品を、夷のやつらの國書と同様、下坐をもちやめさせ御光かとして、なれたらつたよ、第一すまねへ京都をたして御主人様まで、連動にするとは不思一ぱん、あんなりすまね、交易始まらぬ色が不足でなれど高直、お米が五合でか

手が百文、精細高くてお武家が安くて、武藝がすたつてはくちと辻切ひやみにはやつて、今にも邪宗になるかも知れぬへ、お城の焼けたを炭上五と、はさうした書き、禁裏か神社に眠る事だよ、もんもう至極だ、大事な御夜を抱へて居ながら、茶の湯や遊樂、太鼓やつみて遊んで居るとは、原物が附たかなんでもお前は人ではないぞ、追追事がつつて来るから、天地の神々おぼちをわてたる、堪忍よくるもどう、切られた、日證殿の祈りもちつとさかねへ、お籠籠の外から二本で申さし、お首もどられて見にくい死にさせ、邪宗の夷人を信仰するから、願ひが叶つてはいつけ柱の本尊みたよな、切首ついでる、お銀見なせへ、云はすと知れたる天罰なるぞ、さすがに御先願現成だけ、お家を守つて下さる印し、先づ、邪宗の害をばのがれて、天下の諸人が安堵の思ひではから太平、この上非違のお人が出たなら又々あふない、よく、氣をつけ依怙と感病やめてしまつて、武士道みかいて誰にもひはんの云はれぬ政道、何分たのじよお役人。(未完)

樂聖頭(未完)

若殿より多福の面を御せ付られ、なにとぞ出精して御出入にもなりたい、これに付ても、正真のお多福が見たいと云ふ處へ、ねんごなる者來り、いさあふくの手本が御坐る、御殿前の酒屋まで同進すしと作ひ行き、かの酒屋の見世に腰をかけ、飲み度もない酒十六文が燗を申付ると、かの娘殿の陰よりさける時、手本はあれじやと指とさせ、娘内へはいり、かゝらん男のある處にいや



抑此はやかね世にありふれし類に異り幾年を経るも其効能に異變なく輕便にして染りよく鳥の濡羽も三合をさくる黒色を出して水く其艶美を保ち又能く口熱を除き歯齒をしめる等其効能の著るしく無比の良品なりと一度御使用ありて御評判

Advertisement for '改良蠟引紙壽賀本舖' (Improved Wax Paper Shogai Honpo) and '善丸見屋善兵衛' (Shenmaru Mien Shenchiro). Includes text about a 25th anniversary commemorative exhibition and a list of agents.

Advertisement for '江川商厦賣品廣告' (Egawa Shoin Baimon Kogyo Kaifu). Lists various goods such as '龍甲珊瑚珠詩繪物' (Dragon Plate Coral Bead Poetry Painted Objects), '舶來最上人造ゴム' (Imported Best Artificial Rubber), and '象牙櫛笄簪各種' (Various Ivory Combs, Hairpins, and Hairpins). Includes contact information for the main store and branch.

狂歌

里時雨

錦を染出すのみか時雨して
木傳ふ露の玉島の里
越にくへる柴もしりて飯をもち
風に夜寒の里もしりて

腸をたつ田の里のばつ時雨
小笠はし氣にましら鳴なり

山里は木を染たる紅葉の
日もさしならが片時雨ふる

紅葉の色揚せむと幾度も
染井の里に時雨ふるらし

秋のはやすきの木の間に三輪の里
冬のしるしと時雨ふる也

いやよひの花より木をば紅に
そめる時雨のさくら井の里

おはくろの伏見の里に時雨して
楓の葉をもちくは染けり

冬は今朝寒さと共にさつ時雨
かさねてかゝる衣手の里

音たてぬ松の時雨も耳しあれば
聞さよらふ栗本の里

片時雨よりみまき夕暮に
みる三月の鎌倉の里

雪のみか時雨にもまた振をば
かへぬ伏見の里の常盤木

鳥游がましくも和歌の真似ごとを
一寸ニソソソ 本月 鐵道生

今朝見れば庭に散れし紅葉はの
よみわけ難くちり敷にけり

吐き勝ふ風に木の葉の埋もれて
道をもわかぬ布留の御社

そよと吹く尾花か風もなきまで
しつげき野邊にうすらなくなり

霧中紅葉
梢のみ入日のかけにあらはれて
夕霧くらし雨のもみち葉

時雨書夢
ねの月を叩く時雨に夢さめて
ひとりとみすのかけを寒けき

在 米 水生

貴商船益々御盛りの段此上もなく大慶に存候小
生も此度出京 致し候故一寸祝辞にても寄贈い
たし度と陳謝ながら種々相考へ候得とも一升袋
は矢張一升にて格別是と申す名案も浮び出す行
幸の中から取出した小間物商報と凡そ三時間
もにらみ競をせし後漸々新様なるものが出来致し
候に付取敢ず御笑ひ草までには御覽に入れ申候併
し酔ての上の事なれば致辞たやら悪口たやら自
分にも更に相分り申さず所願虎を描いて描に類
するものに坐し

臺灣へまでも弘めた新日本
高貴の御用は無類なり豊井織
有功のしるしをらぬ金掛掛
今なら小確 瑞珠にあつて玉
花の色うつらう苦なし小町水
衣通も既足田中の乙女肌
描書も眞黒注文のぬれがらす
見本陳列費平くど拍手
腕前も流石みかいた麗ふきん
鶴の卵を子と思ふ親土産
超高も願は出来得ぬ鹿印
更が月夜賣高もホウカイ
ばらの香を尋て来たは蝶々給
馬鹿な船即舟に塗われしらす
獅子舞の下水も化粧に牡丹精

先般本欄内を以て募集致候際與俳句の
備書號一掲載御披露可致決定に非坐し處各地御
風交際若し右切日限後即ち廿三日頭ま
で續々時時の盛況に接し爲めに清即及撰評を
請ふの餘日も無之に立至りし旁不得止次誠へ相
題し

企 骨皮 道人 敬白

祖元一字形
肉中藥
菊壽形
祖元一字形
肉中藥
菊壽形

人造養顏
小町櫻
洋風花
右小町櫻洋風花いかだ之義へ第一男女の顔の色を
白くし艶をまし肌理をよまやかにしにさびをばか
すを治し如何はとわれ性の顔にても此小町さくら
用もれば白粉のつかさる事なく白粉焼のうれひ
等少しもなした身何れにても用ひなされる
れば肌をよまかにしひしもやわらかき切傷や
けでてもなすは勿論糸はた織の修婦人方系か
せに用ひて速功ある良品なり
東京淺草區代地
濱田東陽堂
製造發賣元
東京通運町廿一丁目地
村田藤七
特約一手販賣
全國至ル所ノ同業各店ニ於テ販賣仕候

形行流
●本品ハ東京有名ナル日之出商
會ノ製造品ナリ
●本品ハ品質善良ニシテ意匠ニ
富ミ價格尤も低廉ナリ
●本品ハ完備セル工場ト熟練ナ
ル職工ヲ有スルヲ以テ多數ノ
御注文ト雖モ即時御間ニ合セ
申候

小間物問屋 村田藤七
かもし元毛賣買仕候
今般弊店ニ於テ印かもし勉強致ス廣告仕候所皆
得之候故直ニ御意上居リ候所全ク外様ノ品
有之候物ト御意上居リ候所全ク外様ノ品
爲今迄御注文ニ不應不候ニ付右ノ次第一此
先今多分御注文見込無之候故種々加致
所今何程ノ大注文ニテモ支無之候仕
御見本ナリ共御注文ニ程偏ニ奉願上候也
東京日本橋區通運町
小間物問屋 村田藤七



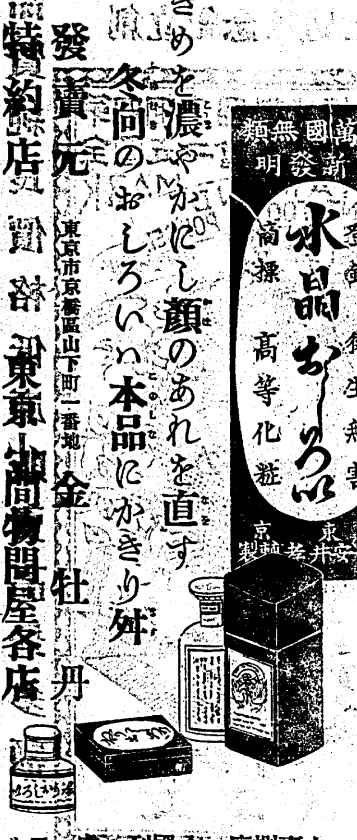
告廣賣擴
●本品ハ弊店特技ノ荷造法ヲ以
テ迅速御出荷可仕候
●本品ハ他ニ比類ナキ勉強ヲ以
テ製造販賣仕候間倍舊ノ御引
立ヲ奉希候

問屋 伊勢幸商店
四季新形
御婦人用
小間物
●本品ハ右ノ外御名人等特別ノ
御注文ト雖モ御好ミニ應シ申
候

きめを濃やかにし顔のあれを直す
冬向のおしろい本品にかきり舂

發賣元 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

品特約店 東京小間物卸商組合中



リアニ處に到國全ハ店捌賣大

本 日 堂 齋 節 郎 太

小兒五かん。驚風。百日咳。乳をまじし。血盗汗。産後のつかれ。衰弱。諸症。良薬也。

病氣見無進物口。此の薬は、小兒の病氣を治すに最も適当なものである。其の効力は、驚風、百日咳、乳をまじし、血盗汗、産後のつかれ、衰弱、諸症に最も効果的である。此の薬は、小兒の病氣を治すに最も適当なものである。其の効力は、驚風、百日咳、乳をまじし、血盗汗、産後のつかれ、衰弱、諸症に最も効果的である。

製造本舖 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

代理店 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

特約店 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

煉 小瓶 四錢 新大 十二錢
中瓶 六錢 特大 廿錢
大瓶 八錢 別天 卅五錢

定價

祖元いろしお

本舖 東京日本橋區京橋山下町三丁目 (電話漢花四十二番)

特約大販賣店 東京小間物卸商組合中

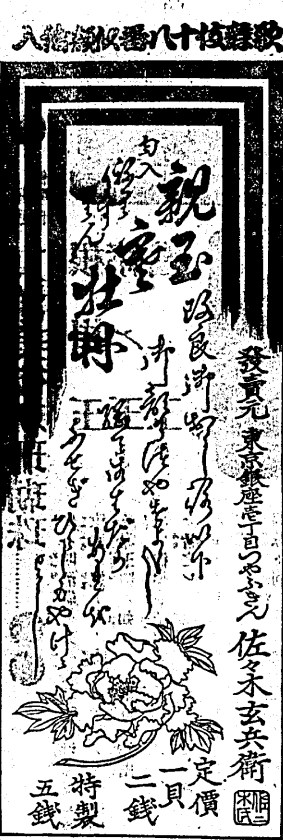
協田盛眞堂



親玉 壯健

發賣元 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

品特約店 東京小間物卸商組合中



定價 一貝 二錢 特製 五錢

此鳥石 齋 節 郎 太

此の鳥石は、小兒の病氣を治すに最も適当なものである。其の効力は、驚風、百日咳、乳をまじし、血盗汗、産後のつかれ、衰弱、諸症に最も効果的である。此の鳥石は、小兒の病氣を治すに最も適当なものである。其の効力は、驚風、百日咳、乳をまじし、血盗汗、産後のつかれ、衰弱、諸症に最も効果的である。

製造本舖 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

代理店 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

特約店 東京市京橋區山下町二番地 金井 社 丹

三橋商店製造品廣告

●弊店製造ノ齒磨原料諸物價騰貴仕候爲メ不止得當十一月ヨリ凡テ三分方直上ケ致候間此致謹告仕候

白光散 御用齒磨化粧品小間物齋

三橋克喜次郎

東京日本橋區京橋山下町三丁目

右製造品ハ特別廉價ヲ以テ販賣仕候間陸續注文被仰付候様奉希上候



賣販大約特

小倉 同 同 鹿島市 唐津 同 博多 福岡 同 同 熊本市 同 同 同 長崎市

大野松久田澤澤樂山本野江宮
 澤屋武久田澤澤樂山本野江宮
 元彦次喜利與次四三支仙三喜次
 兵太郎助助助助助助助助助助助助
 衛助助助助助助助助助助助助助助助

同 同 赤間關市 米國桑港 布哇 嘉義縣 同 同 同 同 同 同 伊萬里 久留米市 佐賀

久澄篠富小野廣泉廣廣新岩廣松小
 川三原士島田 貫利貫貫 鬼村松本柳
 保三郎合島田 商卯次五 商卯次五 善
 庄右周資商松 商卯次五 商卯次五 善
 衛會社店一堂號堂堂店助平郎助
 吉門藏社店一堂號堂堂店助平郎助

牌銅功有會覽博念紀立創

受拜賞褒會覽博業勸國內回四第全
 視受狀褒等二會評品會二五國全

TRADE THE DIAMOND MARK
 AN EXCELLENT TOOTH POWDER

標商錄登

貴功
 多美下
 きのみえ

目丁巷町喰馬市京東
 製謹氏尾平

品質純良 價格低廉 販賣高最多額

種各鏡眼國萬

洋和 來船

田中榮次郎

珠珊瑚新術美等高

東洋美術新珊瑚珠

箱ニ但シ美麗ナル
 箱入リ 壹個毎

根掛玉玉玉

んはや君の花良純製精

花乃君

屋問物問小善四町橋京東
 衛兵善屋見丸 舖本賣發

● 全國全ル處ノ小問物店ニ買捌所アリ

● 不褪色 保固付

● 世ハ明治歳ハ文明其事物ノ進歩セルヲ
 故事ノ進ナキノ時トシテ彼ノ人造珊瑚珠
 及赤玉類ノ如クモ一雨毎ニ瀝出スルハ
 既ニ御得意諸君ノ御承知ノコトアリマス
 ガ昔之レ一視其人造物ナル事ヲ判明シ得
 ルモノノミテゴザリマス依テ弊店茲ニ刻
 苦經營スルハ久シクシテ今更ニ天然
 珊瑚珠トナル物ヲ製造セシモノニテ此
 新珊瑚珠ハ是迄世ニ發賣セル品トハ其製
 造法ヲ大ニ異ニシ其色重量玉音亦自生
 地ノ如キハ天然珊瑚珠トモ異ナル所ナ
 キノミナラズ生地全目等ハ一粒毎ニ其
 キノ異ニセルモノニシテ如何ナル所ナ
 ト雖モ眞偽ヲ識別スルコト得ズ之レ化學
 的作用ナルコトヲ証スルニ除リアリス乞
 フ全國御得意諸君日何卒品質御一覽ノ上
 陸續御注文アラントラフ

● 東京日本橋區山町三丁目
 三橋兔喜次郎製